

# カスタムプロパティ

## 進捗管理

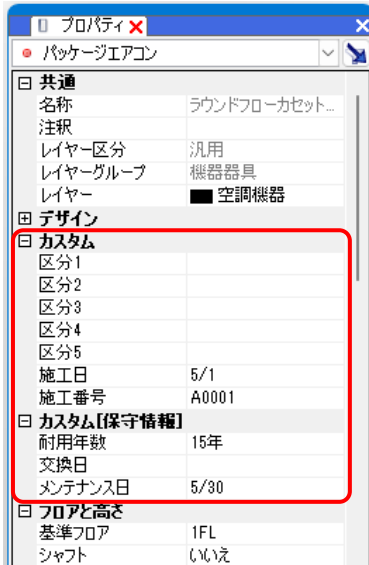
### 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 1.カスタムプロパティ ..... | 2  |
| [カスタムプロパティの追加]の起動 |    |
| 形式の選択             |    |
| 分類の設定             |    |
| カスタムプロパティの編集      |    |
| 設定ファイルの保存・読み込み    |    |
| ナンバリング            |    |
| 文字の作図             |    |
| カスタムプロパティの利用      |    |
| 2.進捗管理 .....      | 28 |
| カスタムプロパティの設定      |    |
| [進捗管理]パネルの表示      |    |
| [進捗管理]パネルの設定      |    |
| 日付の読み込み・参照        |    |
| 3.確認モード .....     | 33 |
| 確認モードの起動          |    |
| カスタムプロパティの色の変更    |    |
| カスタムプロパティの色分けの凡例  |    |
| 確認モードの終了          |    |

# 1. カスタムプロパティ

作図した要素には、あらかじめ決められたプロパティ項目が設定されています。これらの初期値の項目以外にカスタムプロパティを作成することで、要素の種類ごとに自由にプロパティ項目を追加し、情報を付加することができます。

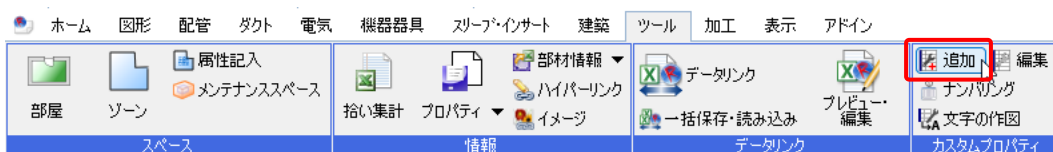
追加した情報を元に部材検索や拾い集計、システム管理などに利用することができます。



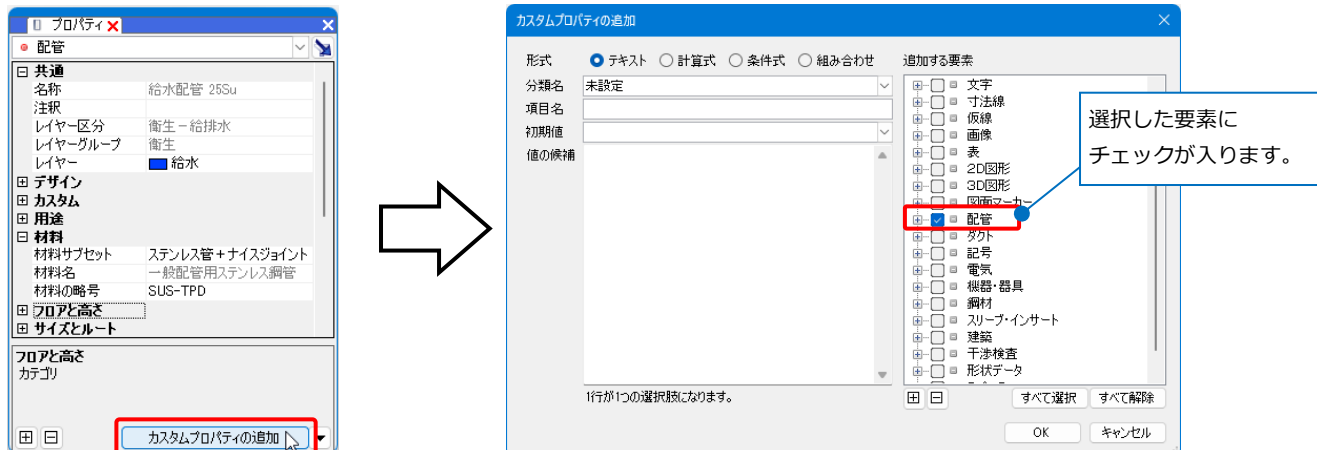
## [カスタムプロパティの追加]の起動

コマンドの起動方法は3通りあります。

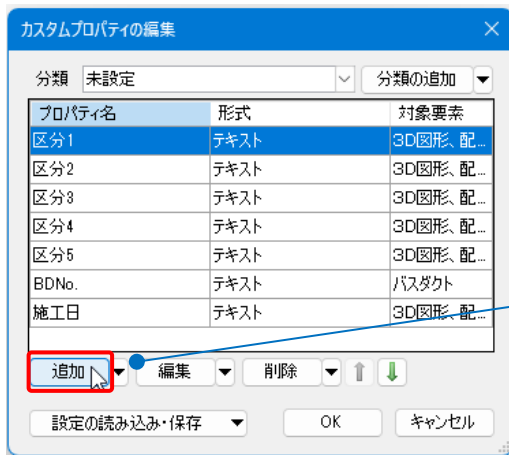
### ・ [ツール]タブ-[追加]



### ・ [プロパティ]パネルの[カスタムプロパティの追加]



## ・ [ツール]タブ-[編集]の[追加]



[追加]横の[▼]より[コピーして追加]で既存のカスタムプロパティをコピーして追加できます。



## 形式の選択

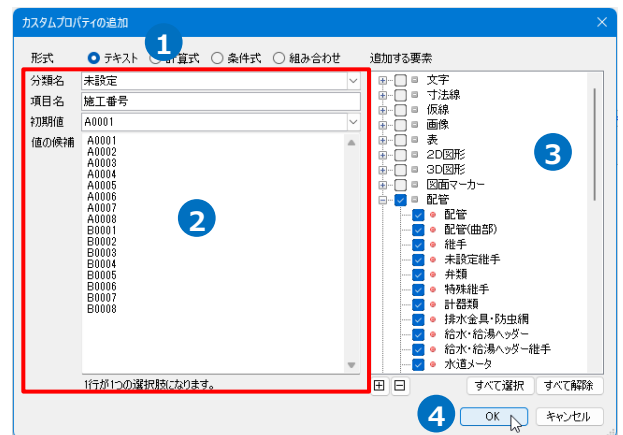
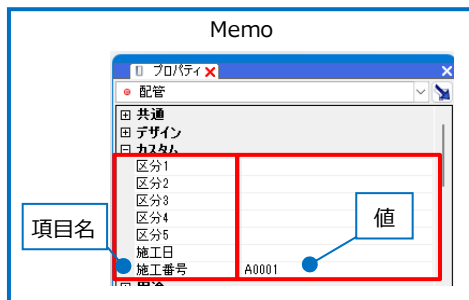
追加するプロパティ項目に入力する値の形式を選択します。

### 形式「テキスト」

プロパティに自由な値が入力可能です。表示する値の初期値とドロップダウンリストも設定できます。

① [カスタムプロパティの追加]ダイアログより、形式「テキスト」を選択します。

② プロパティに追加する[分類名][項目名][初期値][値の候補]を入力します。(分類についてはp.11参照)  
[初期値]と[値の候補]は省略することもできます。

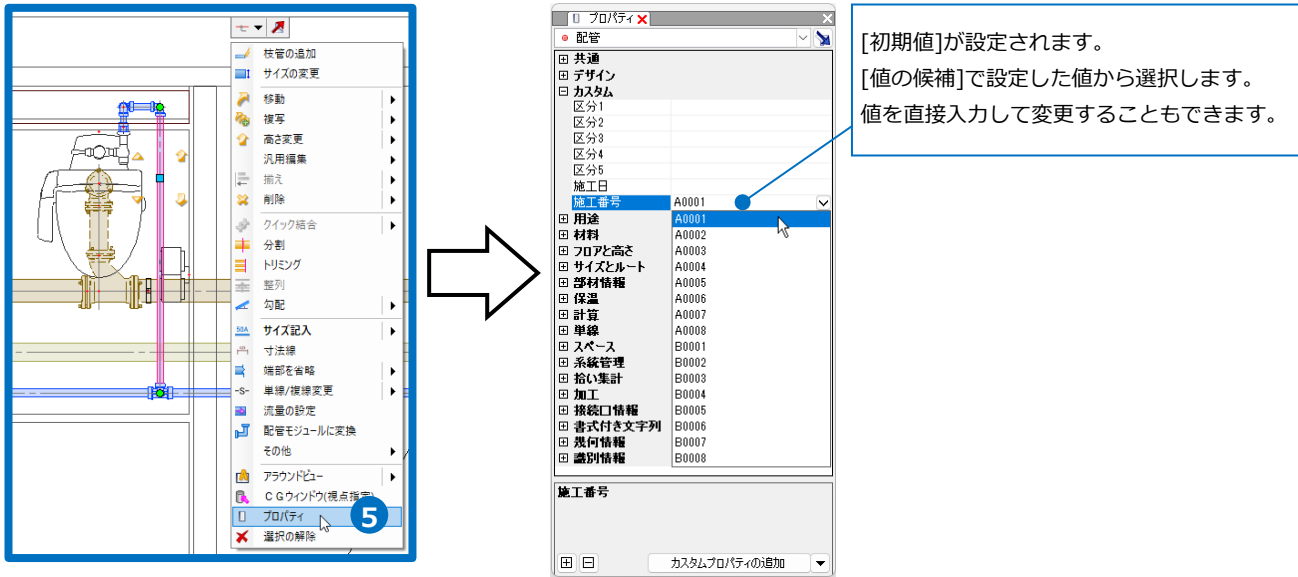


③ 項目を追加する要素にチェックを入れます。

④ [OK]をクリックします。

**5** カスタムプロパティを追加した要素を選択し、[プロパティ]パネルを表示します。

→追加した項目と値を確認することができます。



**形式「計算式」**

既存のプロパティやテキストを組み合わせた計算式を設定し、計算結果を値に表示できます。

**1** [カスタムプロパティの追加]ダイアログより、形式「計算式」を選択します。

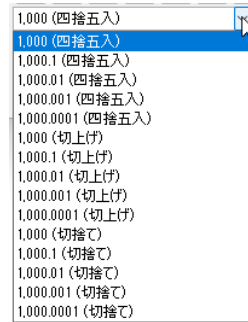
**2** プロパティに追加する[分類名][項目名]を入力します。(分類についてはp.11参照)

**3** 項目を追加する要素にチェックを入れます。

**4** [計算式]にプロパティ項目とテキストを組み合わせた計算式を入力します。([計算式]の詳細は次ページの補足説明参照)  
プロパティ項目を追加する場合は、[項目を追加]をクリックします。

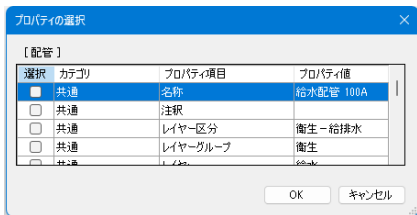


プロパティに表示する値の桁数と丸め方をプルダウンから設定できます。

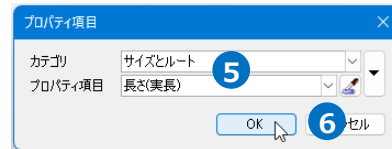


Memo

で図面上の要素をクリックし、指定した要素が持つプロパティ項目から選択することもできます。

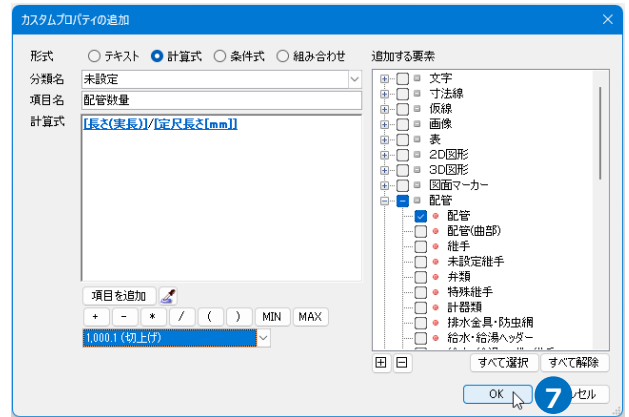


- 5 [プロパティ項目]ダイアログで[カテゴリ][プロパティ項目]を選択します。  
※カテゴリ「拾い集計」「系統管理」は選択できません。



- 6 [OK]をクリックします。

- 7 その他、計算式の設定後、[カスタムプロパティの追加]ダイアログの[OK]をクリックします。



Memo  
[計算式]で不正な値や誤った計算式を入力した場合は「不正な計算式です。」とエラーメッセージが表示されます。

- 8 カスタムプロパティを追加した要素を選択し、[プロパティ]パネルを表示します。  
→指定した計算式で算出された値が表示されます。

[長さ(実長)]「8000」、  
[定尺長さ]「4000」のため、  
8000÷4000で[配管数量]が「2」になります。

Memo  
計算式に含まれるプロパティに、数字以外や空白が1つでもあると計算されません。

● 補足説明

[計算式]で、プロパティ項目と記号や値を組み合わせた計算式を設定します。記号や値はキーボードから直接入力できます。

記号はダイアログ下部のボタンから入力できます。

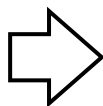


それぞれ対応する記号が入力欄に挿入されます。

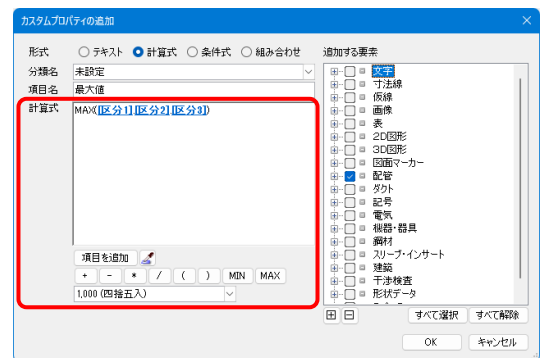


「MIN()」「MAX()」を入力します。複数のプロパティ項目や値の中から、それぞれ最小値または最大値を求める関数です。例えば、「MAX([プロパティ項目1], [プロパティ項目2], [プロパティ項目3])」と設定した場合、3つのプロパティ項目のうち、最大の値を表示します。

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 項目名 | 最大値                    |
| 計算式 | MAX([区分1],[区分2],[区分3]) |



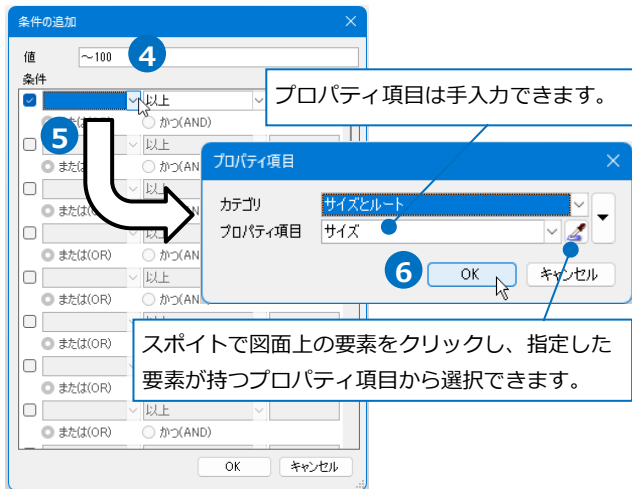
|      |     |
|------|-----|
| カスタム |     |
| 区分1  | 100 |
| 区分2  | 200 |
| 区分3  | 300 |
| 最大値  | 300 |



## 形式「条件式」

条件を設定して一致したときに指定した値を表示できます。複数の条件を指定することもできます。

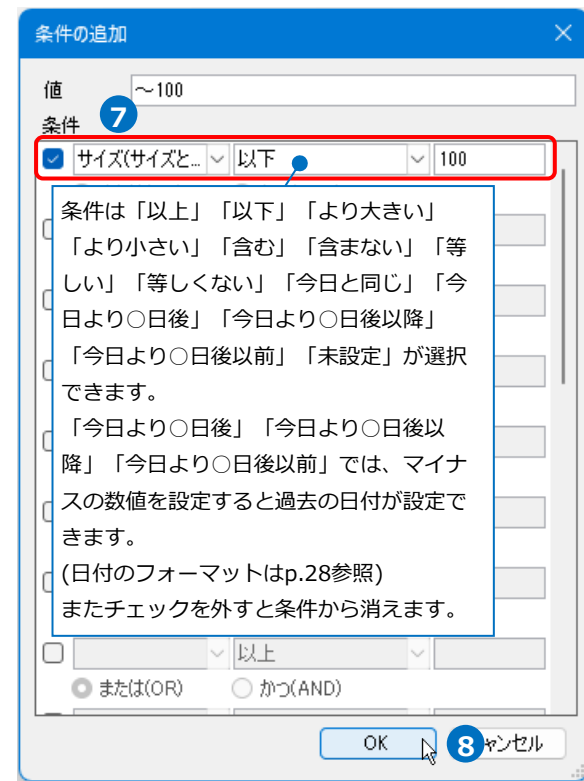
- 1 [カスタムプロパティの追加]ダイアログより、形式「条件式」を選択します。
- 2 項目を追加する要素にチェックを入れます。
- 3 プロパティに追加する[分類名][項目名]を設定し、[追加]をクリックします。(分類についてはp.11参照)
- 4 条件が一致した場合の[値]を設定します。
- 5 条件にチェックを入れ、プルダウンをクリックします。
- 6 [プロパティ項目]ダイアログで[カテゴリ][プロパティ項目]を選択します。  
※カテゴリ「拾い集計」「系統管理」は選択できません。
- 7 プロパティの条件を入力します。



Memo

条件は最大20個設定することができます。複数の条件を設定する場合は、「または(OR)」/「かつ(AND)」の選択でOR検索かAND検索を設定します。「または(OR)」と「かつ(AND)」が混在する場合は、「かつ(AND)」を優先します。

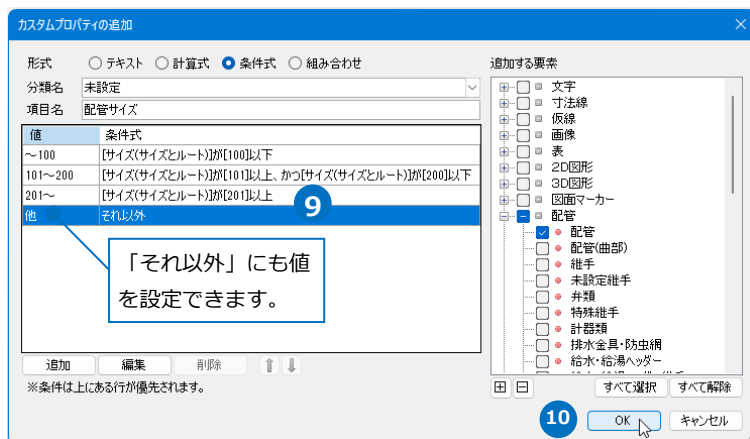
| 条件   |             |       |     |
|--|-------------|-------|-----|
| <input checked="" type="checkbox"/>                                    | サイズ(サイズと... | より大きい | 100 |
| <input type="radio"/> または(OR) <input checked="" type="radio"/> かつ(AND) |             |       |     |
| <input checked="" type="checkbox"/>                                    | 外径(サイズと...  | より大きい | 120 |
| <input type="radio"/> または(OR) <input checked="" type="radio"/> かつ(AND) |             |       |     |
| <input checked="" type="checkbox"/>                                    | 用途(サイズと...  | 等しい   | 給水  |
| <input checked="" type="radio"/> または(OR) <input type="radio"/> かつ(AND) |             |       |     |
| <input checked="" type="checkbox"/>                                    | 用途(サイズと...  | 等しい   | 給湯  |



- 8 [OK]をクリックします。

9 その他の必要な値も条件を設定します。

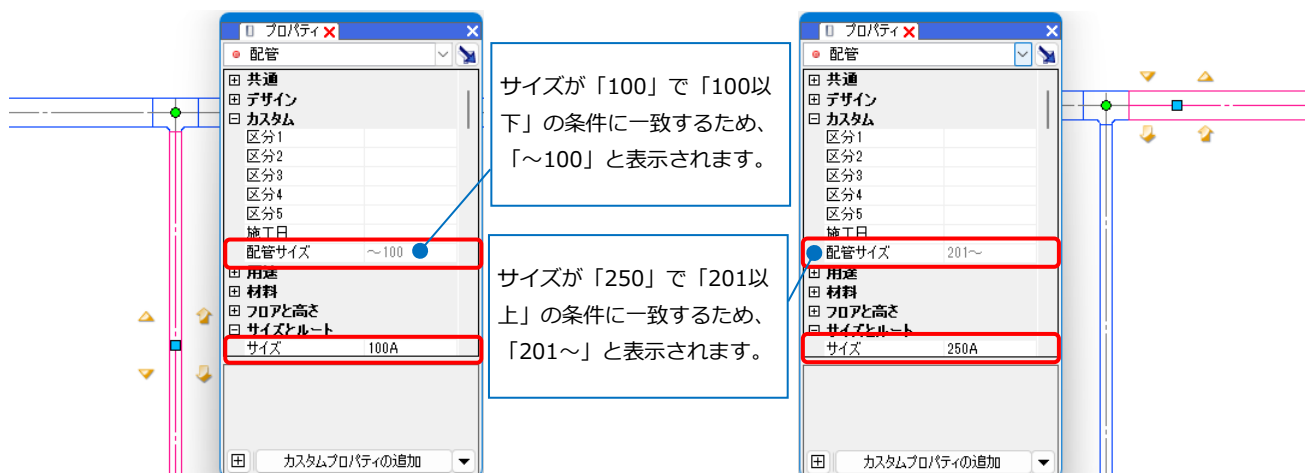
10 [OK]をクリックします。



11 カスタムプロパティを追加した要素を選択し、[プロパティ]パネルを表示します。

→追加した項目と値を確認することができます。

複数の値を設定している場合は、条件によって値が変わります。



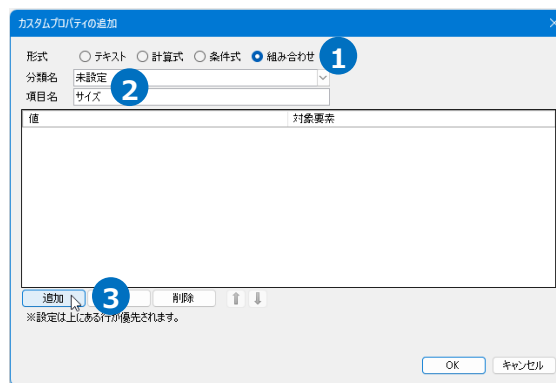
### 形式「組み合わせ」

既存のプロパティやテキストの組み合わせを表示できます。プロパティ項目によっては単位の有無や桁数などの書式が変更できます。

1 [カスタムプロパティの追加]ダイアログより、形式「組み合わせ」を選択します。

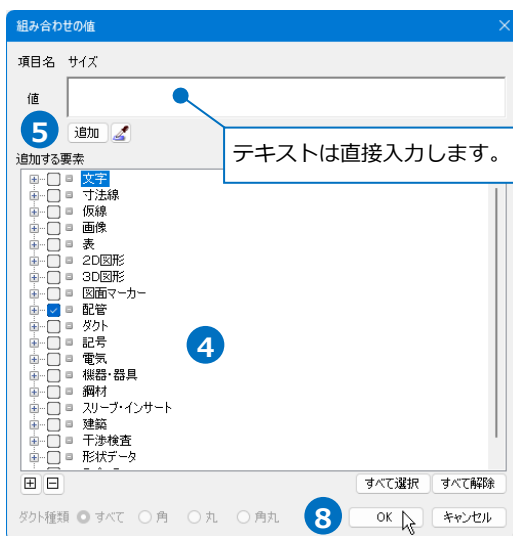
2 プロパティに追加する[分類名][項目名]を入力します。(分類についてはp.11参照)

3 [追加]をクリックします。



4 [組み合わせの値]ダイアログの[追加する要素]で対象要素にチェックを入れます。

5 [値]にプロパティ項目とテキストの組み合わせを入力します。プロパティ項目を追加する場合は、[追加]をクリックします。



Memo

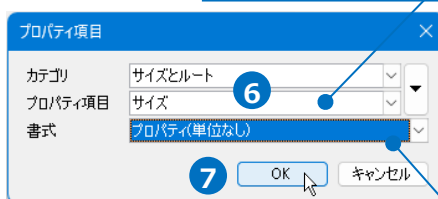
で図面上の要素をクリックし、指定した要素が持つプロパティ項目から選択することもできます。

プロパティの選択

| 選択                                  | カテゴリ | プロパティ項目  | プロパティ値    |
|-------------------------------------|------|----------|-----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 共通   | 名称       | 給水配管 100A |
| <input type="checkbox"/>            | 共通   | 注釈       |           |
| <input type="checkbox"/>            | 共通   | レイヤー区分   | 衛生-給排水    |
| <input type="checkbox"/>            | 共通   | レイヤーグループ | 衛生        |
| <input type="checkbox"/>            | 共通   | レイヤー     | 給水        |

OK キャンセル

6 [プロパティ項目]ダイアログで[カテゴリ][プロパティ項目]を選択します。  
※カテゴリ「拾い集計」「系統管理」は選択できません。



7 [OK]をクリックします。

8 [組み合わせの値]ダイアログの[OK]をクリックします。

9 組み合わせを追加する場合は、3～8の手順を繰り返します。

Memo

組み合わせ項目をExcelに保存し、編集・読み込みすることができます。  
詳細はp.19を参照してください。

プロパティ項目によっては[書式]が選択可能になり、単位、桁数、カンマの表現を指定することができます。指定できる内容はプロパティ項目によって異なります。

プロパティ項目

カテゴリ: サイズルート

プロパティ項目: サイズ

書式: プロパティ

プロパティ項目

カテゴリ: サイズルート

プロパティ項目: 高さ

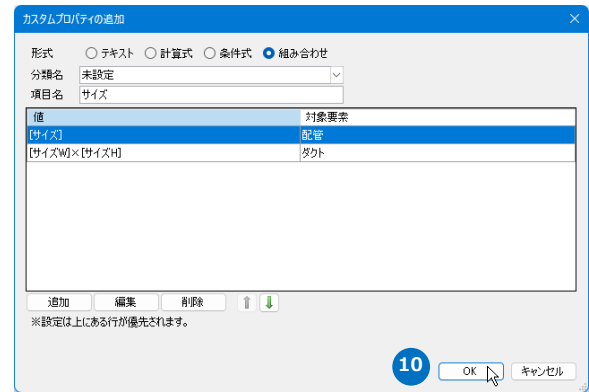
書式: プロパティ

- 整数
- 小数一位
- 小数二位
- 小数三位
- 整数(単位なし)
- 小数一位(単位なし)
- 小数二位(単位なし)
- 小数三位(単位なし)
- 整数(カンマなし)
- 小数一位(カンマなし)
- 小数二位(カンマなし)
- 小数三位(カンマなし)
- 整数(単位なし、カンマなし)
- 小数一位(単位なし、カンマなし)
- 小数二位(単位なし、カンマなし)
- 小数三位(単位なし、カンマなし)

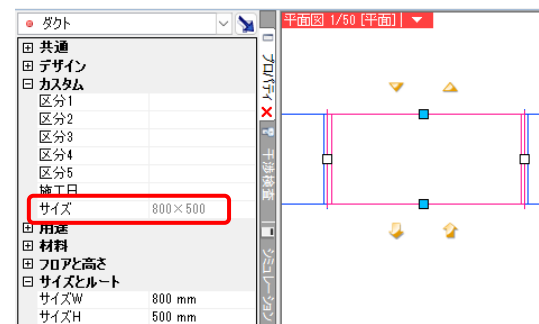
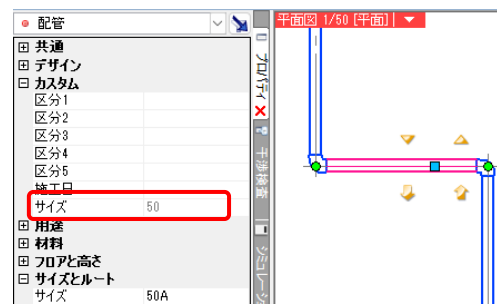
10 [OK]をクリックします。

Memo

一つのプロパティ項目に複数の組み合わせを登録することができます。  
異なるプロパティ項目を、共通のプロパティ項目の値として扱うことができます。



11 カスタムプロパティを追加した要素を選択し、[プロパティ]パネルを表示します。  
→追加した項目と値を確認することができます。



● 補足説明

ダクト関連の要素のみにチェックが入っている場合に[ダクト種類]のラジオボタンが有効になり、ダクト種類を「すべて」「角」「丸」「角丸」から選択できます。



ダクト部材は、同じ要素タイプで角、丸、角丸のサイズを持つため、それを振り分けします。

ダクト種類が適用される要素は「消音エルボ」「消音器」「ダンパー」「VAV」「CAV」「キャンバス」「短管」「フランジ止め」「金網」です。

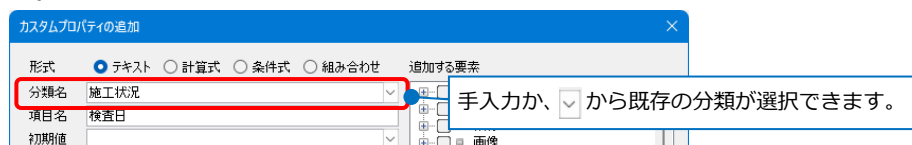
(例)ダンパーの場合

The process involves configuring the 'ダクト種類' (Duct Type) for a damper. The '組み合わせの値' dialog shows the 'ダクト種類' control with '角' (Square) selected. The 'カスタムプロパティの追加' dialog shows the 'ダクト種類' property being added to the 'ダンパーサイズ' (Damper Size) property, with '角' and '丸' (Round) selected as target elements. The final 'プロパティ' windows show the 'ダンパーサイズ' property set to '500×400' for a square duct and '200φ' for a spiral duct.

## 分類の設定

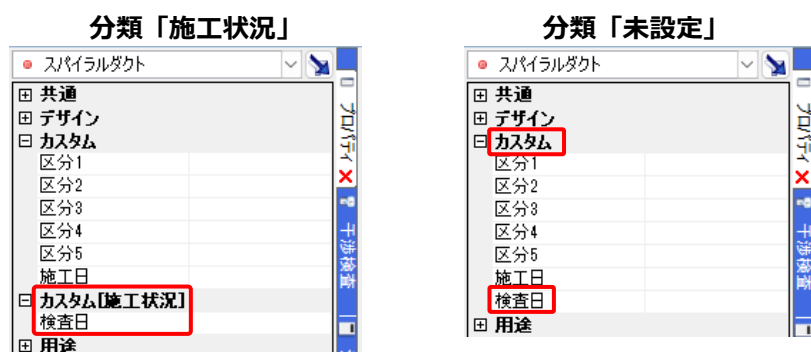
カスタムプロパティは分類が設定でき、分類ごとにカテゴリを分けることができます。

カスタムプロパティを追加、編集する時に設定できます。(カスタムプロパティの編集については次ページ参照)

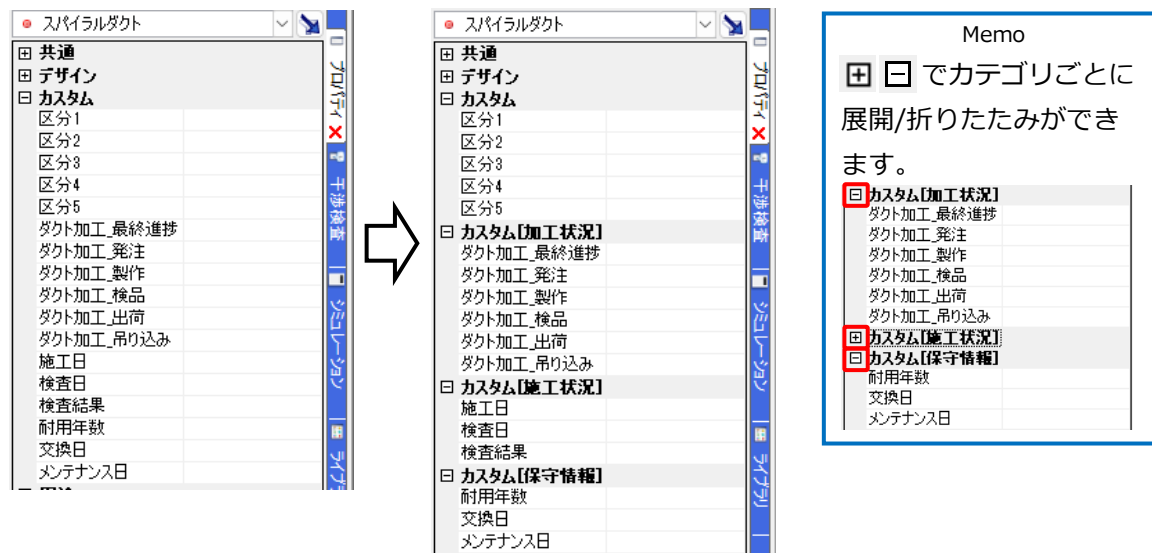


分類を設定するとカスタムプロパティのカテゴリ名が[カスタム[分類名]]になります。

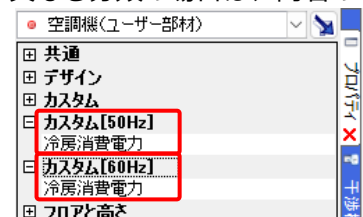
分類による仕分けが不要な場合は、「未設定」を選択します。「未設定」の場合は、カテゴリ名が[カスタム]になります。



分類を使用することで、カスタムプロパティを分類ごとに分けて表示できます。



異なる分類の場合は、同名の項目名を設定できます。



## カスタムプロパティの編集

[ツール]タブ-[編集]をクリックし、カスタムプロパティの項目について編集ができます。

Memo  
要素選択後の[プロパティ]パネルの[カスタムプロパティの追加]横の[▼]-[カスタムプロパティの編集]からも起動できます。

分類ごとの一覧が表示されます。

形式や対象要素の確認もできます。

| プロパティ名 | 形式    | 対象要素               |
|--------|-------|--------------------|
| 区分1    | テキスト  | 3D図形、配管、ダクト、電気、... |
| 区分2    | テキスト  | 3D図形、配管、ダクト、電気、... |
| 区分3    | テキスト  | 3D図形、配管、ダクト、電気、... |
| 区分4    | テキスト  | 3D図形、配管、ダクト、電気、... |
| 区分5    | テキスト  | 3D図形、配管、ダクト、電気、... |
| BDNo.  | テキスト  | バスダクト              |
| 施工日    | テキスト  | 3D図形、配管、ダクト、電気、... |
| 施工番号   | テキスト  | 配管                 |
| 配管サイズ  | 条件式   | 配管                 |
| サイズ    | 組み合わせ | 配管、ダクト(一部)         |
| 配管数量   | 計算式   | 配管                 |

### 項目の編集

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより編集する項目名を指定し、[編集]をクリックします。

項目名をクリック

- 2 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより、分類名や項目名など各内容を編集します。

Memo  
形式は固定のため変更できません。変更したい場合は新規追加をします。

2

3

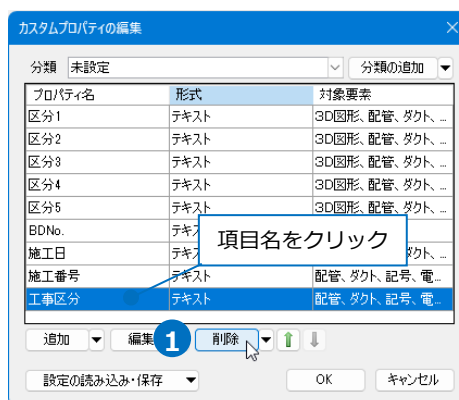
- 3 [OK]をクリックします。

- 4 [カスタムプロパティの編集]ダイアログの[OK]をクリックします。  
→カスタムプロパティの内容が更新されます。

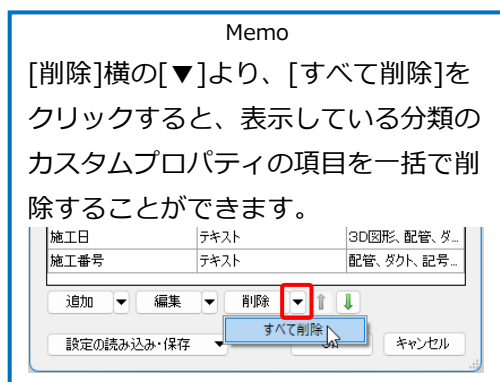
4

## 項目の削除

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより項目名を指定し、[削除]をクリックします。



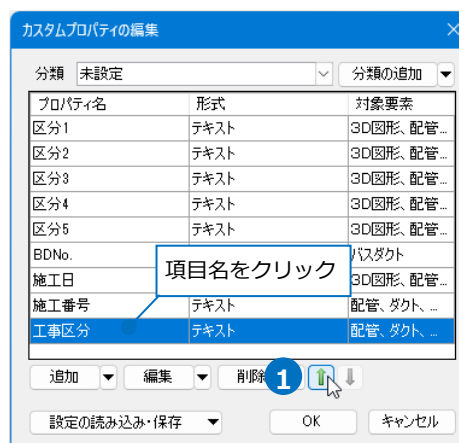
- 2 [OK]をクリックします。  
→カスタムプロパティの項目が削除されます。



## 表示順の変更

プロパティに表示する順番を変更します。

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより項目名を指定し、矢印をクリックします。

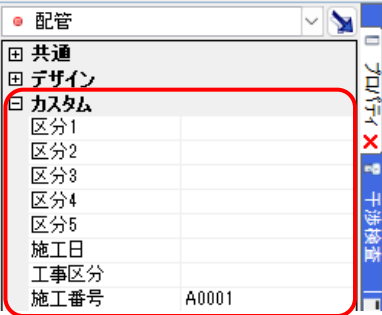



## 2 [OK]をクリックします。

→[プロパティ]パネルで表示順が変更されます。

Memo

プロパティ項目をドラッグしても順番を変更できます。



## 分類の変更

追加済みのカスタムプロパティの分類を変更できます。

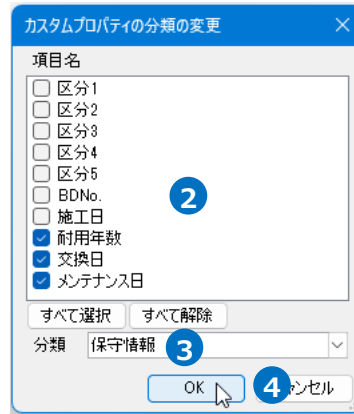
## 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログの[編集]横の[▼]-[分類の変更]をクリックします。



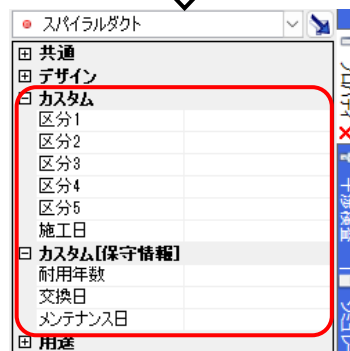
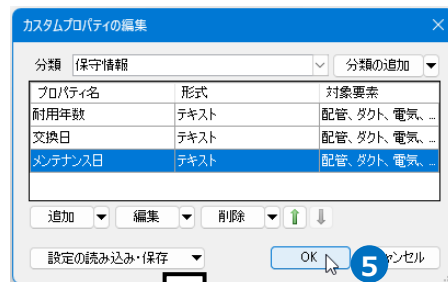
2 [カスタムプロパティの分類の変更]ダイアログの [項目名] で変更する項目名にチェックを入れます。

3 変更先の[分類]を指定します。  
手入力か、プルダウンから選択します。

4 [OK]をクリックします。

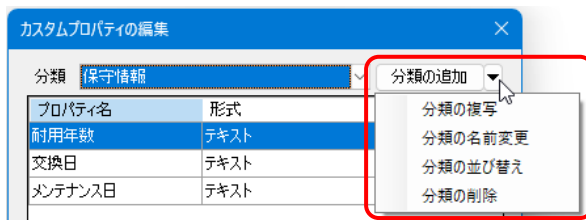


5 [カスタムプロパティの編集]ダイアログの[OK]をクリックします。  
→分類が変更されます。



## 分類の編集

[カスタムプロパティの編集]ダイアログ内の[分類の追加]横の[▼]から分類の編集が行えます。



### [分類の追加]

新規で分類を追加します。

### [分類の複写]

表示中の分類を複写します。分類に含まれるプロパティ項目も合わせて複写されます。

## [分類の名前変更]

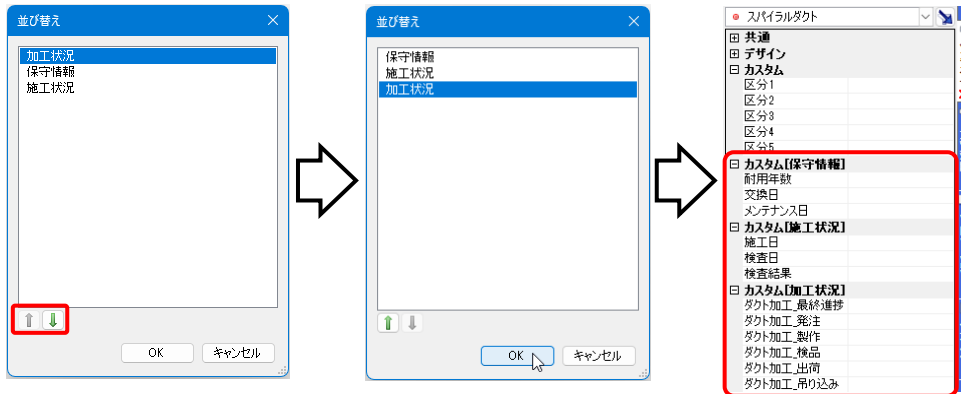
表示中の分類の名前を変更します。「未設定」は変更できません。

## [分類の並び替え]

[並び替え]ダイアログが表示され、分類の並びを変更できます。

矢印かドラッグで変更します。

要素のプロパティも同じ並びで表示されます。



## [分類の削除]

表示中の分類を削除します。「未設定」は削除できません。

## 設定ファイルの保存・読み込み

カスタムプロパティは図面ごとに設定します。同じカスタムプロパティの項目を他の図面で利用するには、設定した内容をファイル出力し、読み込みます。

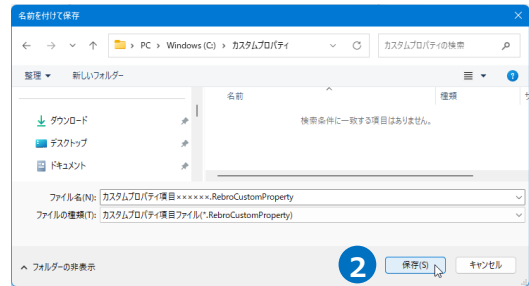
### 設定ファイルの保存

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[ファイルに保存する]をクリックします。

→[名前を付けて保存]ダイアログが開きます。

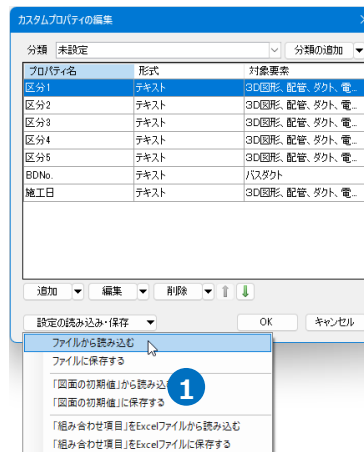


- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を入力し、[保存]をクリックします。  
→カスタムプロパティの設定ファイル (\*.RebroCustomProperty)を保存します。

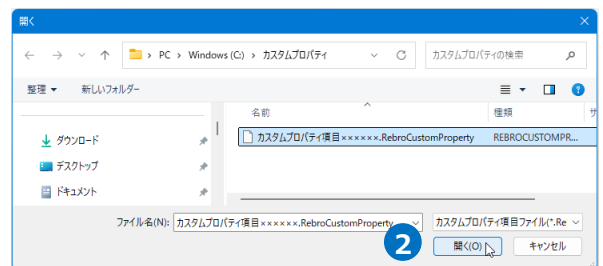


### 設定ファイルの読み込み

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより [設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]をクリックします。  
→[開く]ダイアログが開きます。



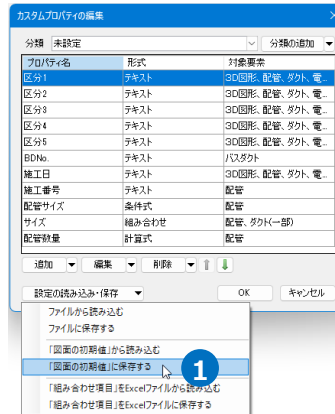
- 2 [開く]ダイアログから読み込む設定ファイル (\*.RebroCustomProperty)を選択し、[開く]をクリックします。  
→カスタムプロパティが追加されます。分類が設定されている場合は合わせて追加されます。同名の分類に同名のプロパティ項目が存在する場合は上書きされます。



## 図面の初期値に保存

追加したカスタムプロパティを初期値として新規図面で使用します。

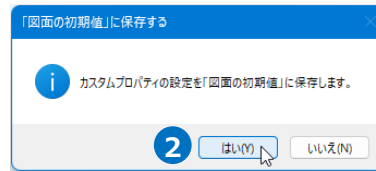
- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[「図面の初期値」に保存する]をクリックします。



- 2 [「図面の初期値」に保存する]ダイアログの[はい]をクリックします。

→図面の初期値に設定が保存されます。

[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[ツール]-[カスタムプロパティ]で保存されたプロパティ項目を確認できます。



分類も追加されます。

| ツール - カスタムプロパティ |      |
|-----------------|------|
| 分類              | 加工状況 |
| プロパティ名          | 形式   |
| ダクト加工_最終進捗      | テキスト |
| ダクト加工_発注        | テキスト |
| ダクト加工_製作        | テキスト |
| ダクト加工_検品        | テキスト |
| ダクト加工_出荷        | テキスト |
| ダクト加工_吊り込み      | テキスト |

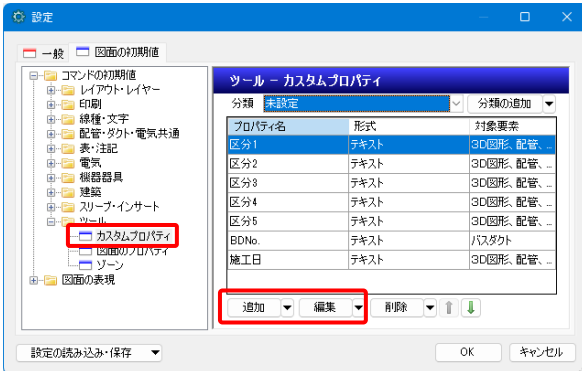
Memo  
既存の初期値の内容は削除され、現在の図面の設定内容に置き換わります。

### ● 補足説明

[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[ツール]-[カスタムプロパティ]で新規図面のカスタムプロパティを編集することができます。

初期設定として分類「未設定」で「区分1」～「区分5」「BDNo.」「施工日」が設定されています。

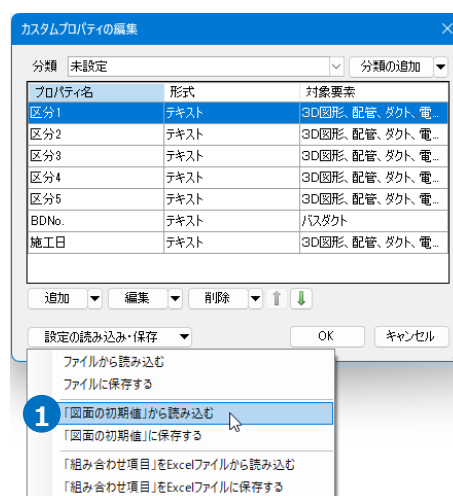
[追加]で項目を追加、[編集]で既存の項目を編集することができます。



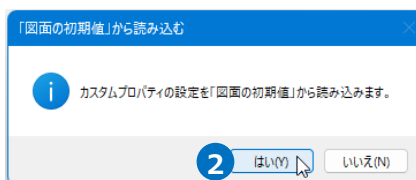
## 図面の初期値から読み込み

図面の初期値に保存したカスタムプロパティを現在の図面に読み込みます。

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[「図面の初期値」から読み込む]をクリックします。



- 2 [「図面の初期値」から読み込む]ダイアログの[はい]をクリックします。  
→図面の初期値の設定が、現在の図面に読み込まれます。



### Memo

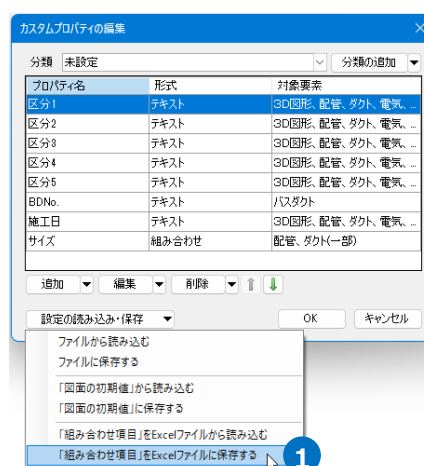
図面上で設定した既存の項目がある場合、その項目は削除され、図面の初期値の設定に置き換わります。

## 「組み合わせ項目」の保存・読み込み

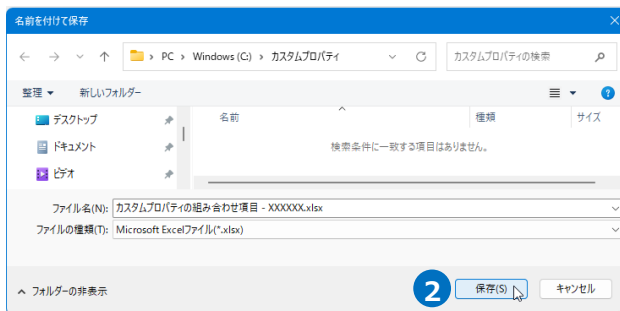
「組み合わせ」形式で追加したカスタムプロパティ項目をExcelファイルに保存し、編集して読み込むことができます。

### Excelファイルを保存する

- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより[設定の読み込み・保存]-[「組み合わせ項目」をExcelファイルに保存する]をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を入力し、[保存]をクリックします。



## Excelファイルを編集する

- 1 [「組み合わせ項目」をExcelファイルに保存する]で保存したExcelファイルを開きます。

| 1 | Ver.2.0 | 組み合わせ項目 |    |  |                                |
|---|---------|---------|----|--|--------------------------------|
| 2 |         | 分類      | 名前 | 値  | 対象要素                           |
| 3 | 未設定     | サイズ     |    | {{サイズとルート}}{サイズ}}                            | [C:配管]                         |
| 4 | 未設定     | サイズ     |    | {{サイズとルート}}{サイズW}{R0}×{{サイズとルート}}{サイズH}{R0}} | [E:ダクト][E:ダンボールダクト(矩形)][E:矩形ネッ |
| 5 | 未設定     | サイズ     |    | {{サイズとルート}}{サイズ}{T0}}                        | [E:スパイラルダクト][E:円形ダクト][E:換気用配管  |
| 6 |         |         |    |  |                                |
| 7 |         |         |    |  |                                |

- 2 ワークシート[入カシート]で編集し、上書き保存します。

| 1 | Ver.2.0 | 組み合わせ項目   |    |  |                                |
|---|---------|-----------|----|--|--------------------------------|
| 2 |         | 分類        | 名前 | 値  | 対象要素                           |
| 3 | 未設定     | サイズ       |    | {{サイズとルート}}{サイズ}}                                | [C:配管]                         |
| 4 | 未設定     | サイズ       |    | {{サイズとルート}}{サイズW}{TOR0}×{{サイズとルート}}{サイズH}{TOR0}} | [E:ダクト][E:ダンボールダクト(矩形)][E:矩形ネッ |
| 5 | 未設定     | サイズ       |    | {{サイズとルート}}{サイズ}{T0}}                            | [E:スパイラルダクト][E:円形ダクト][E:換気用配管  |
| 6 | 未設定     | 表面積(単位なし) |    | {{サイズとルート}}{表面積(実長)}{T0}}                        | [E:ダクト]                        |
| 7 | 系統情報    | 系統名       |    | {{加工}}{系統名}}                                     | [C:ダクト]                        |

書式を「単位なし」に変更

入カシート

分類「未設定」プロパティ項目「表面積(単位なし)」、  
分類「系統情報」プロパティ項目「系統名」を追加

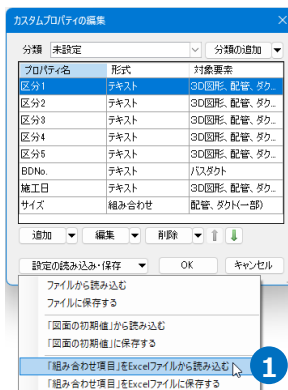
## Memo

ワークシートを[説明]に切り替えると組み合わせ項目の入力例や書式などを確認できます。

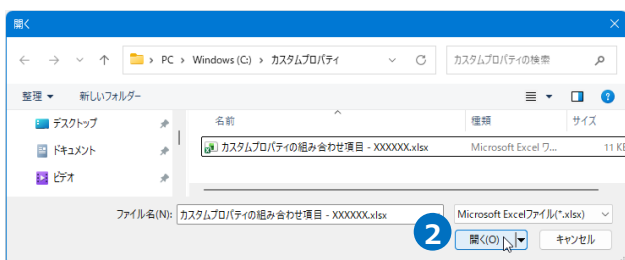
| 1  | Ver.2.0 | 組み合わせ項目 (入力例) |    |                              |                              |    |       |       |      |         |           |         |
|----|---------|---------------|----|------------------------------|------------------------------|----|-------|-------|------|---------|-----------|---------|
| 2  |         | 分類            | 名前 | 値                            | 対象要素                         | 書式 | 説明    | デフォルト | 要素一覧 | カテゴリ(C) | サブカテゴリ(S) | 要素(E)   |
| 3  | 未設定     | サイズ           |    | {{サイズとルート}}{サイズ}{T0}         | [E:配管][E:配管(宙部)][E:スパイラルダクト] | T0 | 単位なし  | デフォルト | 文字   |         |           | 文字      |
| 4  | 未設定     | サイズ           |    | {{サイズとルート}}{サイズW}{T0}[C:ダクト] |                              | T1 | 単位あり  | デフォルト | 文字   |         |           | サイズ記入文字 |
| 5  | 分類1     | 重量            |    | {{部材情報}}{重量[kg]}             | [C:配管]                       | C0 | カンマなし | デフォルト | 文字   |         |           | 機器番号    |
| 6  | 分類1     | 重量            |    | {{部材情報}}{製品重量[kg]}           | [C:機器・器具]                    | C1 | カンマあり | デフォルト | 文字   |         |           | 加工番号    |
| 7  |         |               |    |                              |                              | R0 | 整数    |       | 文字   |         |           | 掛番号     |
| 8  |         |               |    |                              |                              | R1 | 小数1位  |       | 文字   |         |           | 回路番号    |
| 9  |         |               |    |                              |                              | R2 | 小数2位  | デフォルト | 文字   |         |           | 点滅区分記号  |
| 10 |         |               |    |                              |                              | R3 | 小数3位  |       | 文字   |         |           | 長さ記入文字  |
| 11 |         |               |    |                              |                              |    |       |       | 寸法線  |         |           | 寸法線     |

## Excelファイルを読み込む

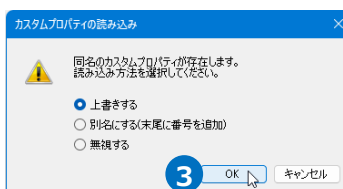
- 1 [カスタムプロパティの編集]ダイアログより [設定の読み込み・保存]-[「組み合わせ項目」をExcelファイルから読み込む]をクリックします。



- 2 [開く]ダイアログから読み込むExcelファイルを選択し、[開く]をクリックします。



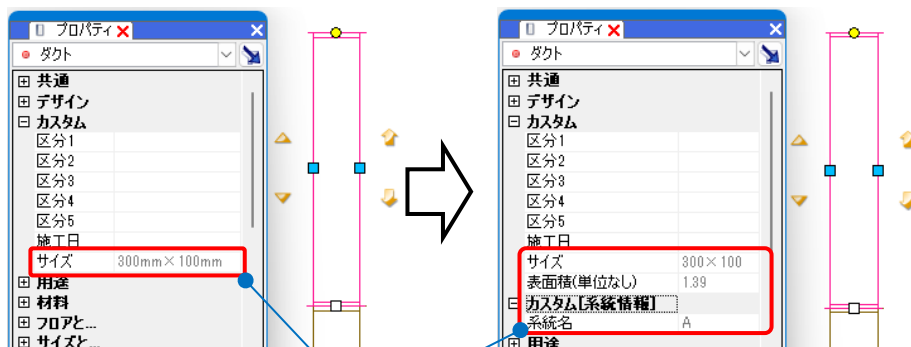
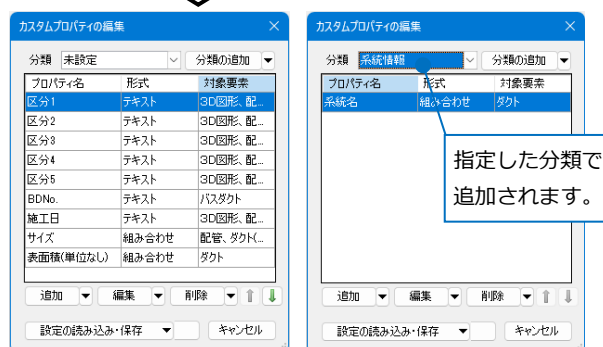
- 3 [カスタムプロパティの読み込み]ダイアログから分類とプロパティ名が一致するカスタムプロパティの読み込み方法を選択し、[OK]をクリックします。



→Excelファイルで設定した内容が読み込まれます。分類を指定した場合は、分類も追加されます。

Memo

分類とプロパティ名が一致するカスタムプロパティ項目が存在しない場合は、[カスタムプロパティの読み込み]ダイアログが表示されずにそのまま読み込まれます。

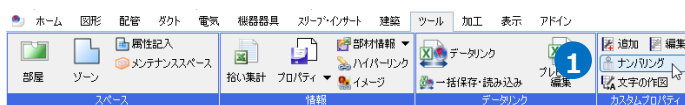


[サイズ]が「単位なし」に変更され、プロパティ項目が追加されます。

## ナンバリング

形式「テキスト」のカスタムプロパティの項目にナンバリングした値を入力します。

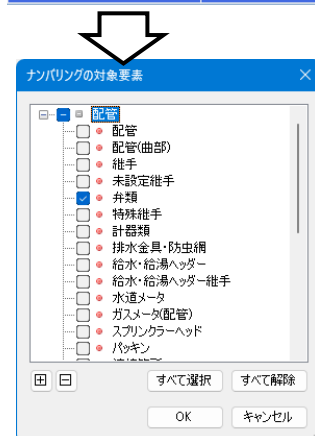
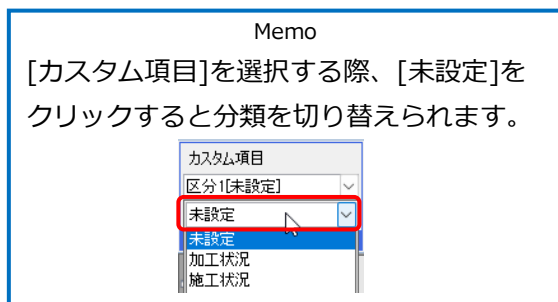
- 1 [ツール]タブ-[ナンバリング]をクリックします。



- 2 [カスタム項目]で値を入力するカスタムプロパティの項目を選択します。  
[対象要素]をクリックし、ナンバリングの対象要素を指定します。

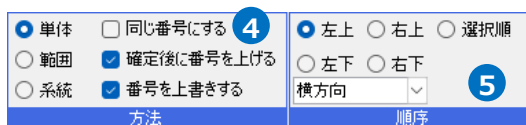


番号の種類を選択します。



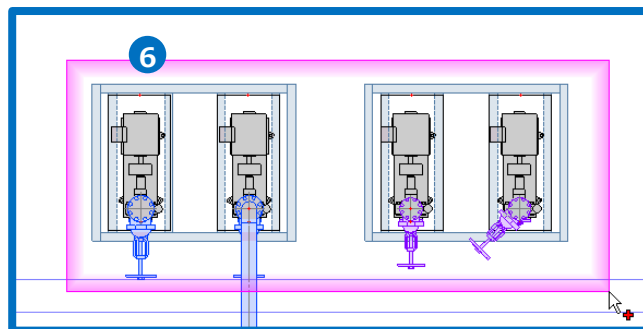
- 3 ナンバリングの開始番号と番号の種類を指定します。  
[接頭語]: 番号の先頭に付加する文字列を指定します。  
[接尾語]: 番号の末尾に付加する文字列を指定します。

- 4 ナンバリングの方法を指定します。  
「単体」: ナンバリングする要素を1つずつ指定します。  
「範囲」: ナンバリングする1系統内のルート2本を指定し、その間をナンバリングします。(1つ目に選択したルートからナンバリングします。)  
「系統」: 系統上の1本のルート指定して1系統まとめてナンバリングします。

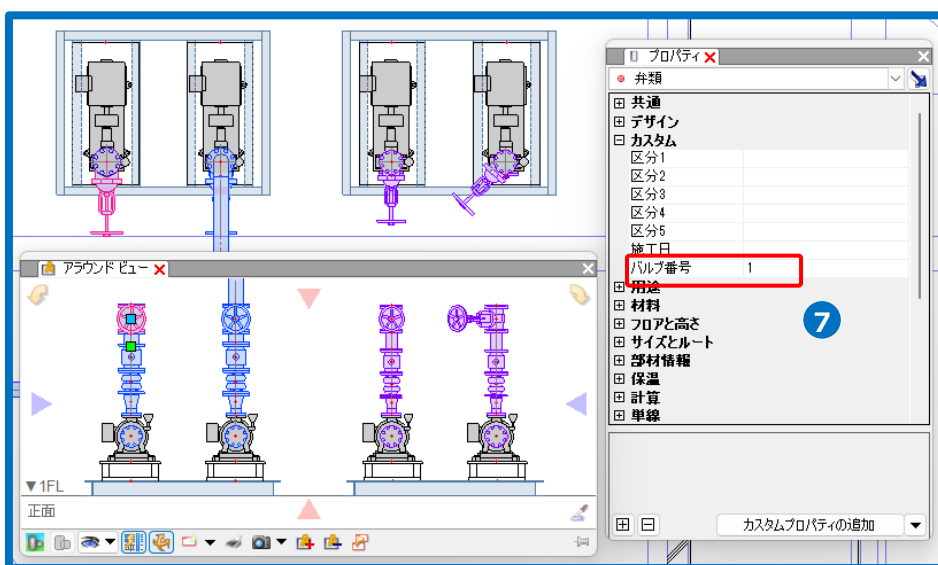
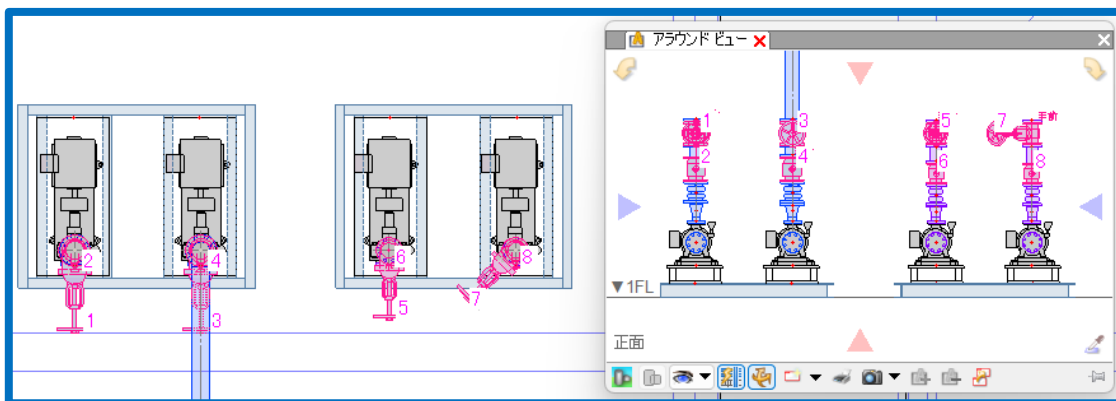


- 5 ナンバリングの順序を指定します。

- 6 ナンバリングしたい要素を選択します。

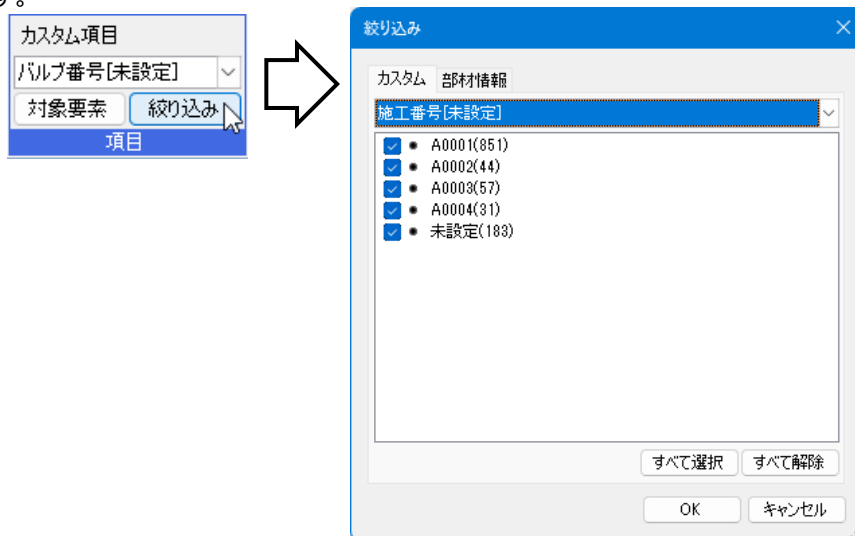


7 対象要素がナンバリングされ、カスタムプロパティの項目に番号が入力されます。



● 補足説明

[絞り込み]からナンバリングする要素をプロパティ項目[カスタム][部材情報]の値で絞り込むことができます。



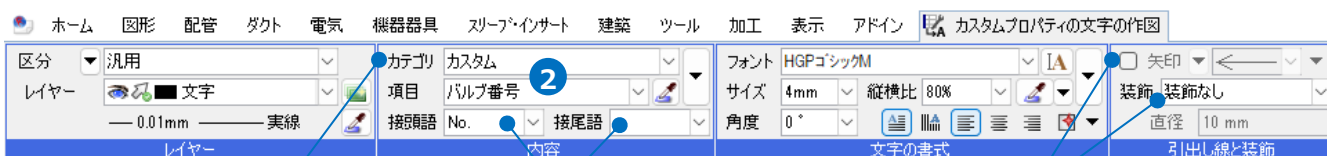
## 文字の作図

カスタムプロパティの情報とリンクした文字を図面上に記入することができます。接頭語と接尾語の設定ができ、複数の要素に一括で作図できます。

- 1 [ツール]タブ-[文字の作図]をクリックします。



- 2 記入するプロパティ項目を[カテゴリ]と[項目]から選択します。



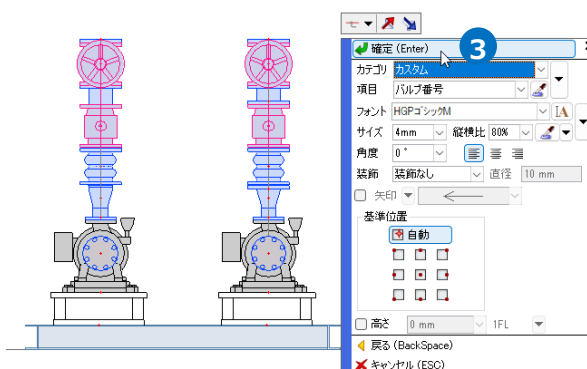
別のカテゴリに切り替えます。

カスタムプロパティの値の前後に表示する文字を設定できます。

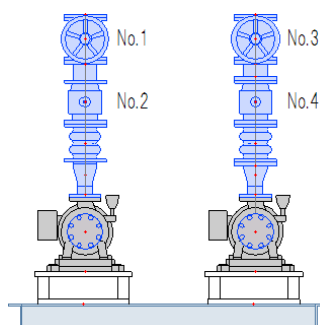
矢印や装飾が設定できます。

- 3 記入したい要素を選択し、コンテキストメニューの[確定]をクリックします。

Memo  
選択したカスタムプロパティの対象要素のみ選択できます。

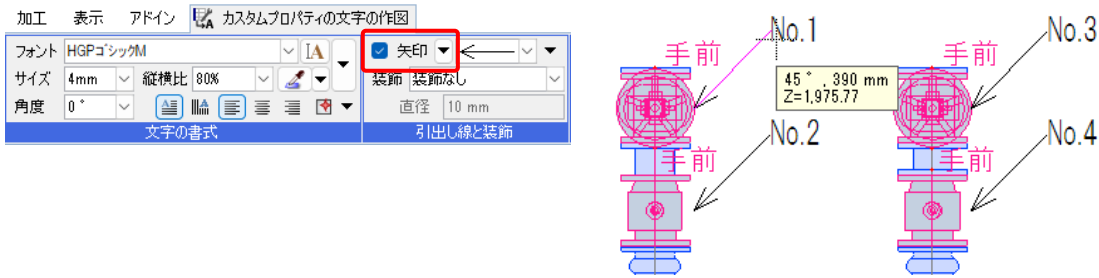


- 4 配置したい位置でクリックすると文字が作図されます。



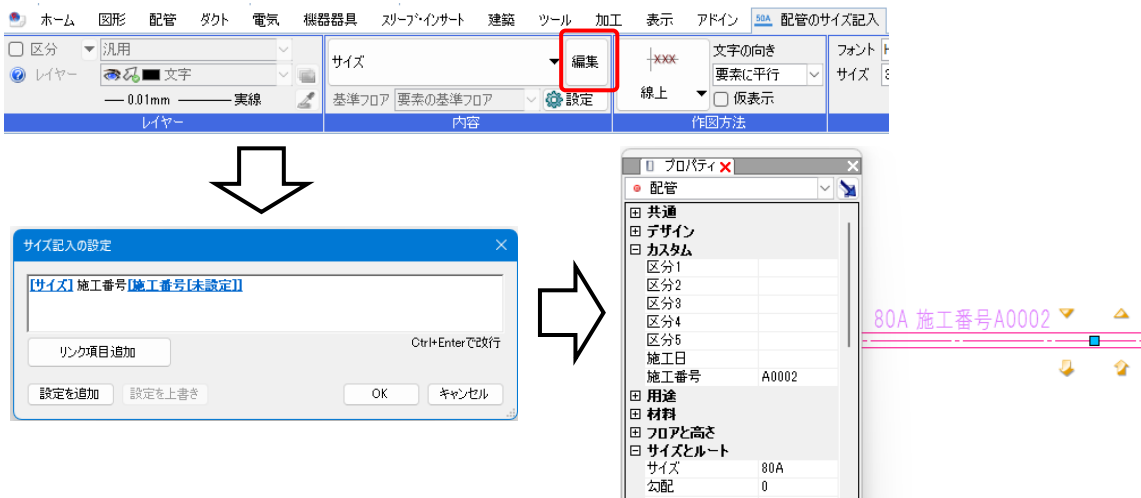
● 補足説明

[矢印]のチェックを入れて、複数の要素を選択すると、引出し線付きの文字を同時に作図することができます。



● 補足説明

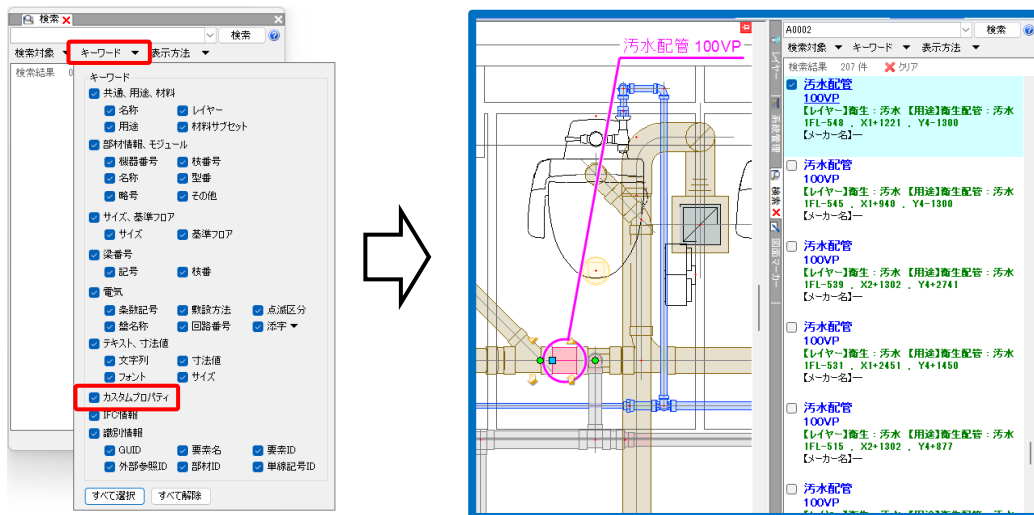
[配管][ダクト][電気][建築]タブ-[サイズ記入]、[電気]タブ-[長さ記入]、[機器器具][スリーブ・インサート]タブ-[名称記入]、[ツール]タブ-[属性記入]でもカスタムプロパティとリンクする文字の作図が可能です。サイズ記入では複数のプロパティ項目とテキストの組み合わせを記入できます。リボンの[編集]から記入内容を編集できます。[サイズ記入]は2D図形や3D図形などの汎用要素は未対応です。



## カスタムプロパティの利用

### 部材検索

[表示]タブ-[パネル]-[検索]で、カスタムプロパティの値から該当する要素を検索できます。



## 拾い集計

拾い集計の仕分けにカスタムプロパティの項目を追加すると、カスタムプロパティの値ごとに集計することができます。(拾い集計の出力の詳細については、テクニカルガイド「[拾い集計](#)」を参照してください。)

拾い集計表

事務所ビル

| 名     | 称  |                         |      |             |        |         |    |         |  | 考 |  |  |
|-------|----|-------------------------|------|-------------|--------|---------|----|---------|--|---|--|--|
| A0001 | 給水 | 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(屋内外用) | 25A  | 16          | mm     | 0.04kg  |    |         |  |   |  |  |
|       |    | 一般配管用ステンレス鋼管            | 20Su | 31698       | mm     | 16.8kg  |    |         |  |   |  |  |
|       |    |                         | 25Su | 40798       | mm     | 27.75kg |    |         |  |   |  |  |
|       |    |                         | 30Su | 1360        | mm     | 1.34kg  |    |         |  |   |  |  |
|       |    |                         | 40Su | 6845        | mm     | 8.49kg  |    |         |  |   |  |  |
|       |    | 水道用硬質塩化ビニル管             | 25VP | 128         | mm     | 0.06kg  |    |         |  |   |  |  |
|       |    | A0002                   | 汚水   | 排水・通気用耐火二層管 | 40FDP  | 1154    | mm | 0.95kg  |  |   |  |  |
|       |    |                         |      |             | 50FDP  | 14093   | mm | 16.35kg |  |   |  |  |
|       |    |                         |      |             | 65FDP  | 3705    | mm | 6.12kg  |  |   |  |  |
|       |    |                         |      |             | 100FDP | 7230    | mm | 25.17kg |  |   |  |  |
|       |    | 50A                     | 8665 | mm          |        |         |    |         |  |   |  |  |
|       |    | 80A                     | 8104 | mm          |        |         |    |         |  |   |  |  |

カスタムプロパティ単位でまとめます。

## IFC保存

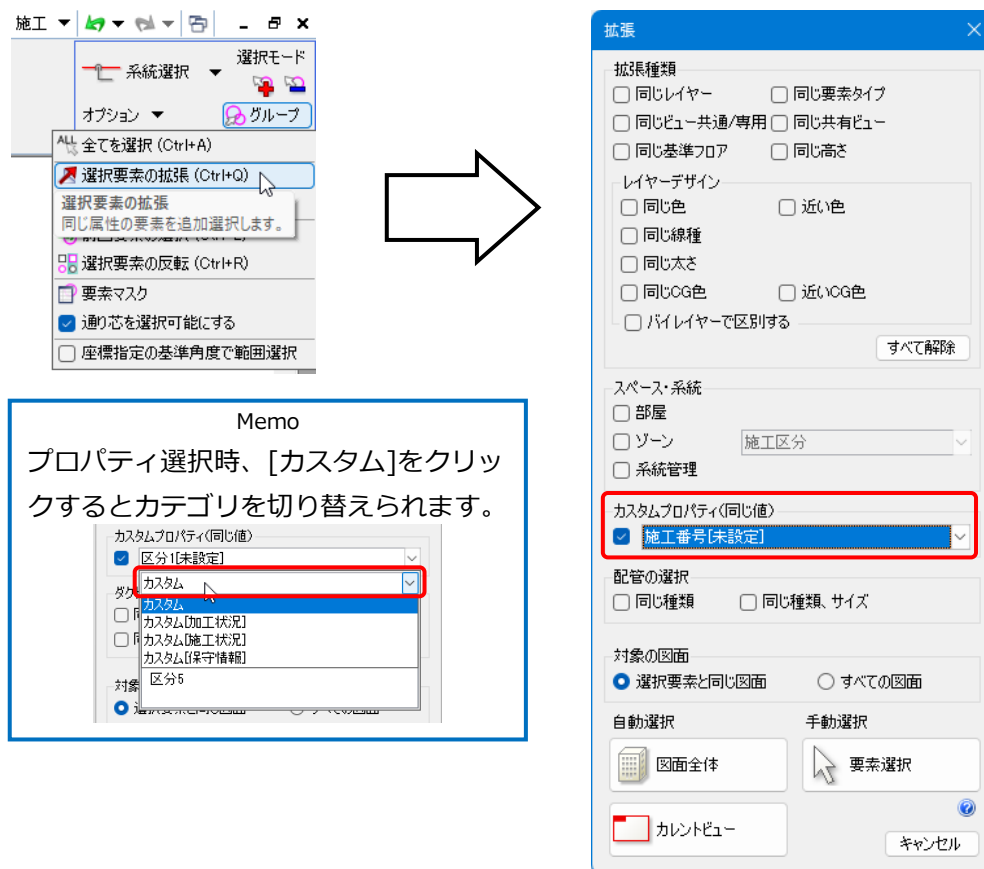
カスタムプロパティは、項目名を保持してIFCファイルに保存されます。

| プロパティ | 値      |
|-------|--------|
| 区分1   |        |
| 区分2   |        |
| 区分3   |        |
| 区分4   |        |
| 区分5   |        |
| 施工日   |        |
| 施工番号  | A00001 |

他ソフトでプロパティの情報が確認できます。

## 選択要素の拡張

[オプション]-[選択要素の拡張]で同じカスタムプロパティの要素のみを選択することができます。



拡張

拡張種類

- 同じレイヤー
- 同じ要素タイプ
- 同じビュー-共通/専用
- 同じ共有ビュー
- 同じ基準フロア
- 同じ高さ

レイヤー・デザイン

- 同じ色
- 近い色
- 同じ線種
- 同じ太さ
- 同じCG色
- 近いCG色
- パイルレイヤーで区別する

すべて解除

スペース・系統

- 部屋
- ゾーン
- 系統管理

施工区分

カスタムプロパティ(同じ値)

- 施工番号[未設定]

配管の選択

- 同じ種類
- 同じ種類、サイズ

対象の図面

- 選択要素と同じ図面
- すべての図面

自動選択

- 図面全体

手動選択

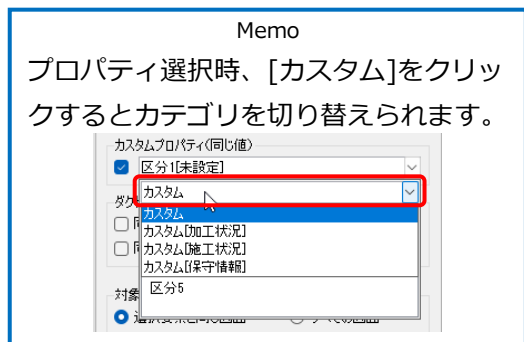
- 要素選択

カレントビュー

キャンセル

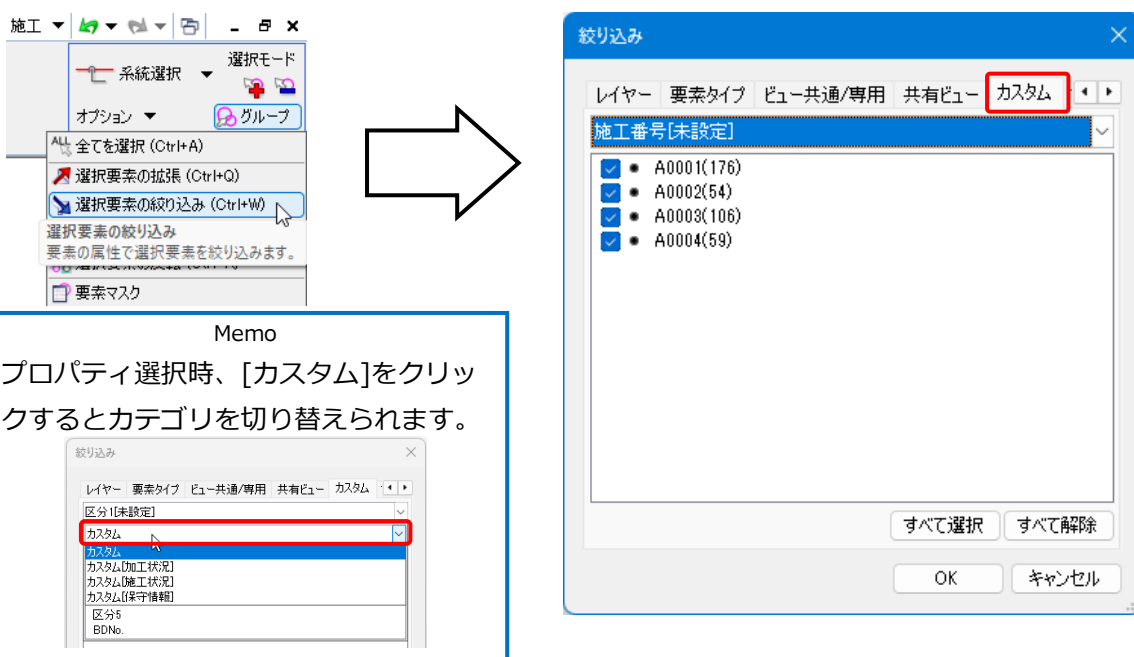
Memo

プロパティ選択時、[カスタム]をクリックするとカテゴリを切り替えられます。



## 選択要素の絞り込み

[オプション]-[選択要素の絞り込み]の[カスタム]タブで指定したカスタムプロパティの要素のみを絞り込んで選択できます。



絞り込み

レイヤー 要素タイプ ビュー-共通/専用 共有ビュー カスタム

施工番号[未設定]

- A0001(176)
- A0002(54)
- A0003(106)
- A0004(59)

すべて選択

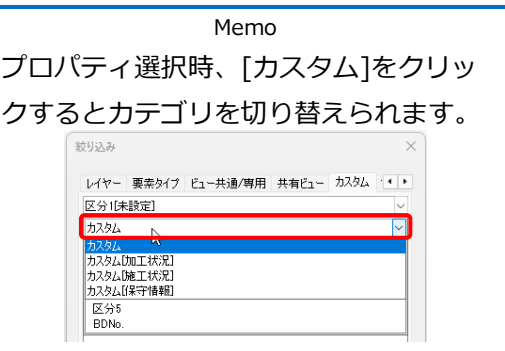
すべて解除

OK

キャンセル

Memo

プロパティ選択時、[カスタム]をクリックするとカテゴリを切り替えられます。

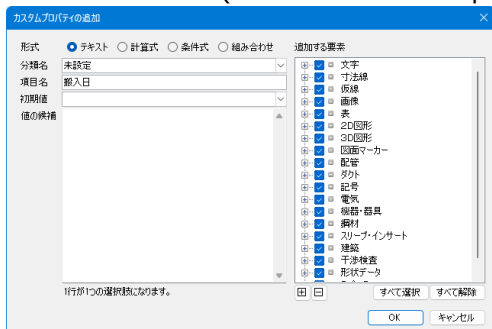


## 2.進捗管理

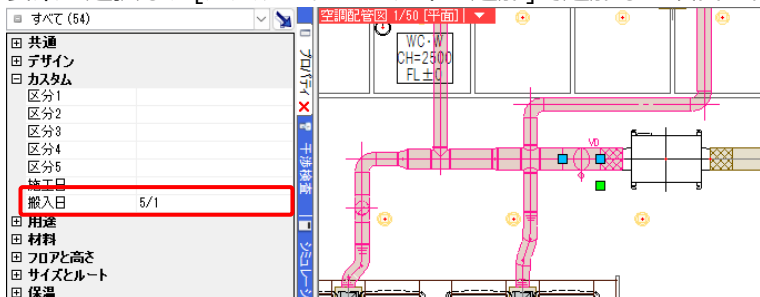
「進捗管理」は、カスタムプロパティに入力された搬入日や施工日などの日付から、工事の進捗状況を図面上で色分け表示して確認することができます。

### カスタムプロパティの設定

[ツール]タブ-[追加]をクリックし、[カスタムプロパティの追加]ダイアログより、進捗管理に反映させる項目名を追加します。(追加方法についてはp.2参照)



要素を選択し、[カスタムプロパティの追加]で追加した項目に日付を入力します。



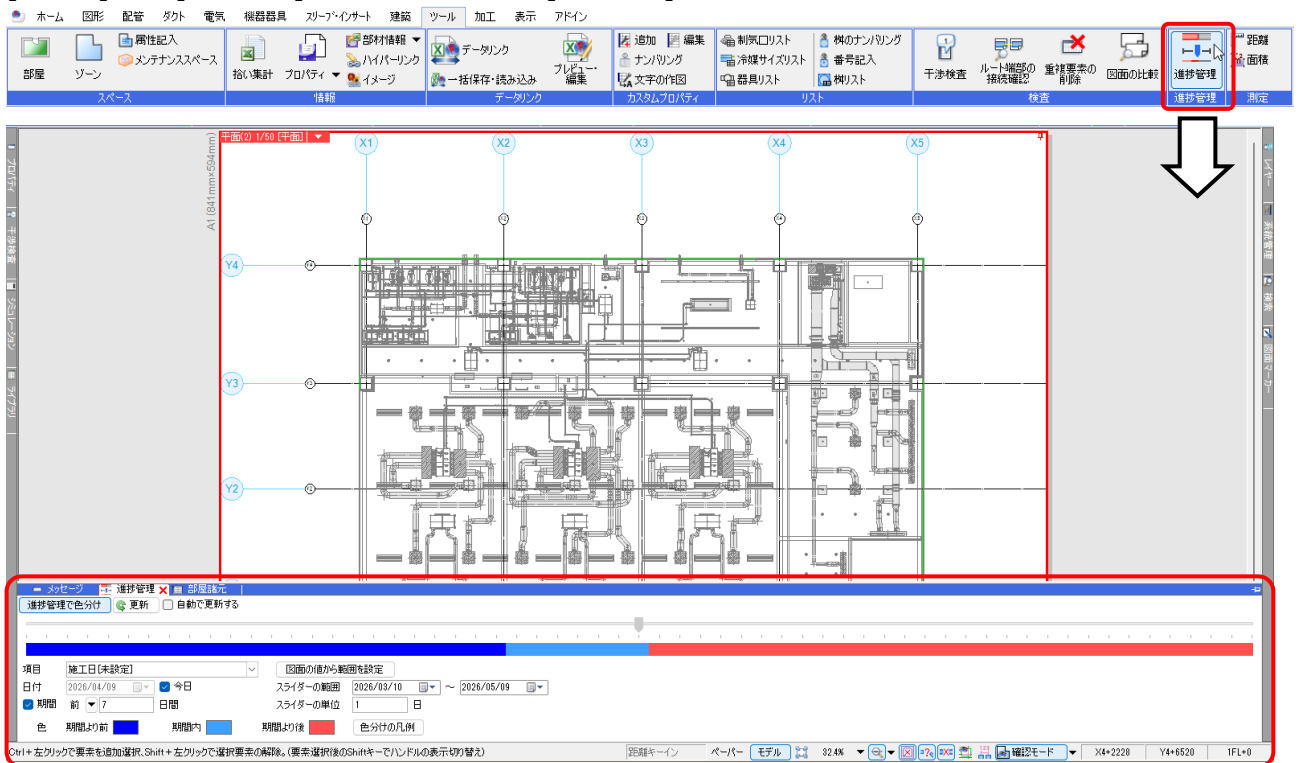
#### ● 補足説明

以下のフォーマットで入力すると日付として認識されます。数値は半角です。

| フォーマット     | 認識する日付     | フォーマット | 認識する日付    |
|------------|------------|--------|-----------|
| 2026年4月10日 | 2026年4月10日 | 2026/4 | 2026年4月1日 |
| 2026/4/10  | 2026年4月10日 | 2026.4 | 2026年4月1日 |
| 2026.4.10  | 2026年4月10日 | 2026-4 | 2026年4月1日 |
| 2026-4-10  | 2026年4月10日 | 4月1日   | 現在の年の4月1日 |
| 令和8年4月10日  | 2026年4月10日 | 4/1    | 現在の年の4月1日 |
| 26年4月10日   | 2026年4月10日 | 4.1    | 現在の年の4月1日 |
| 26/4/10    | 2026年4月10日 | 4-1    | 現在の年の4月1日 |
| 26.4.10    | 2026年4月10日 | 2026年  | 2026年1月1日 |
| 26-4-10    | 2026年4月10日 | 4月     | 現在の年の4月1日 |
| 2026年4月    | 2026年4月1日  | 1日     | 現在の年の1月1日 |

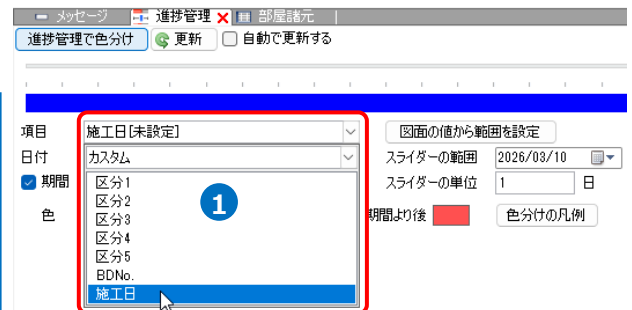
## [進捗管理]パネルの表示

[ツール]タブ-[進捗管理]をクリックすると、[進捗管理]パネルが開きます。



## [進捗管理]パネルの設定

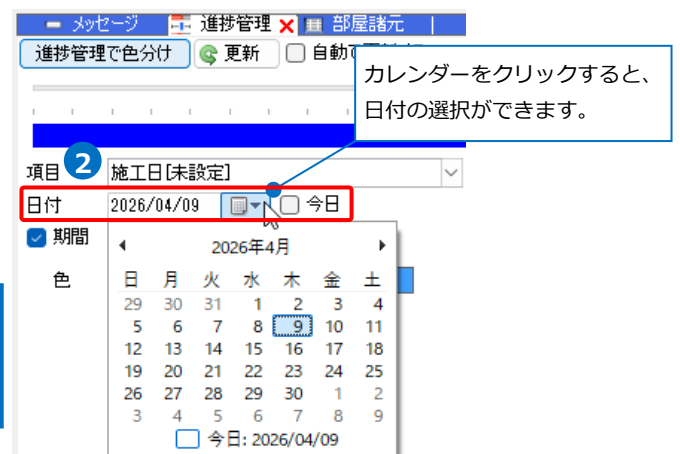
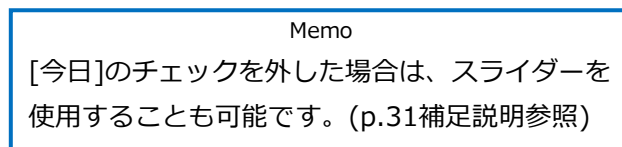
- 1 [進捗管理]パネルの[項目]で日付を設定したカスタムプロパティの項目を選択します。



- 2 [日付]で、進捗管理の色分けの基準となる日を設定します。

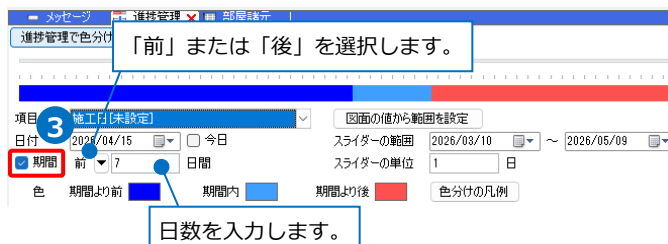
[今日]にチェックを入れた場合は、現在の日付が設定されます。

チェックを外した場合は、日付を選択、または手入力をします。



3 色分けの設定をします。

[期間]にチェックを入れると、[日付]で指定した日から[期間]で設定した期間内、前、後の3色で色分けすることができます。

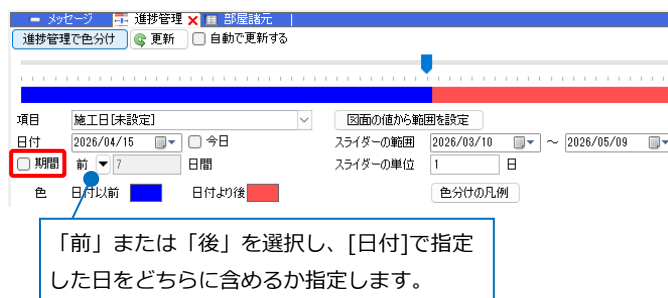


[期間]のチェックを外すと、[日付]で指定した日の前、後の2色で色分けすることができます。

Memo

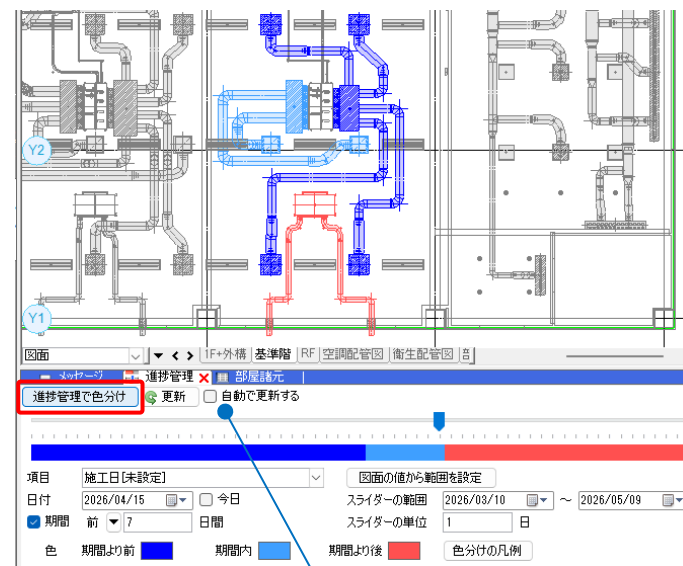
色のアイコンをクリックすると、色を変更することができます。

期間より前 期間内 期間より後



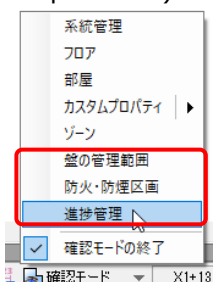
4 [進捗管理で色分け]をクリックしてオンにします。

→設定した日付の値に合わせて色分けして表示されます。



Memo

[確認モード]の[進捗管理]をクリックすると、[進捗管理で色分け]がオンの状態で[進捗管理]パネルが開きます。色分けを終了する場合は、[進捗管理で色分け]を再度クリックするか、[確認モードの終了]をします。([確認モード]についてはp.33参照)



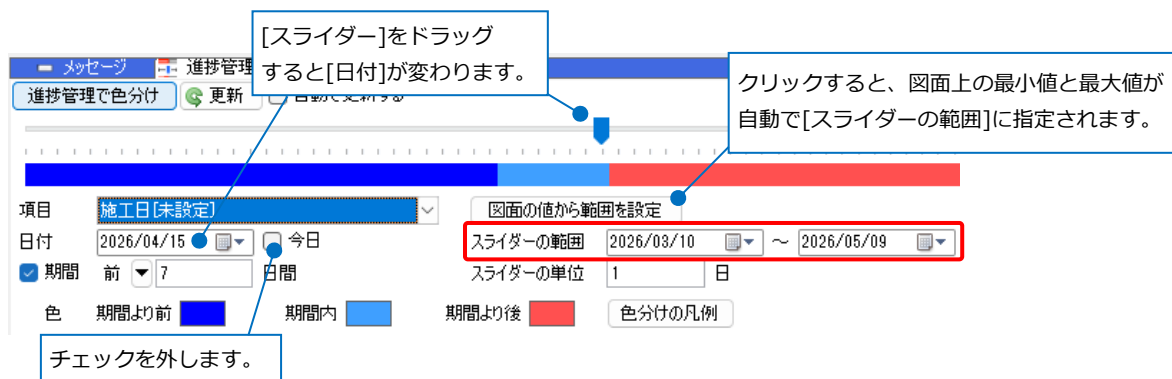
[自動で更新する]にチェックを入れると、日付、または期間を変更した時点で、[色]で設定した色に更新されます。チェックを外すと、[更新]をクリックした時点で反映されます。

- 補足説明

[日付]で[今日]のチェックを外した場合、スライダーを使用して日付の変更が可能です。

[スライダーの範囲]でスライダーに表示する日付の期間を指定します。

スライダーの目盛りは、[スライダーの単位]で単位日数を指定できます。



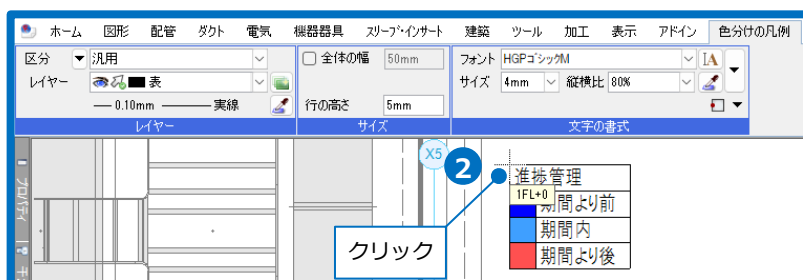
### 色分けの凡例

設定した色分けを凡例表として作図します。

① [色分けの凡例]をクリックします。



② 凡例表の配置位置を指定します。



## 日付の読み込み・参照

カスタムプロパティの日付を、[プロパティの保存]で出力したCSVファイルを使用して、読み込みや参照することができます。直接図面上の要素に日付の情報を付加したい場合は[プロパティの読み込み]、日付の情報を図面上ではなく、CSVファイルで管理したい場合は[プロパティの参照]を使用します。詳細については、テクニカルガイド「[プロパティの保存・読み込み・参照](#)」を参照してください。

### プロパティの保存

[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]で日付の情報を付加したい要素のプロパティの情報をCSVファイルとして保存し、保存したCSVファイルで日付の項目や値を追加・編集します。

|   | A                                    | B    | C     | D     |
|---|--------------------------------------|------|-------|-------|
| 1 | 名称                                   | レイヤー | 施工日   | 標準フロア |
| 2 | アルミフレキ 150φ                          | 外気   | 5月15日 | 3FL   |
| 3 | スパイラルダクト継手(亜鉛鉄板) 90° プレスバンド (150)    | 外気   | 5月15日 | 3FL   |
| 4 | 外気ダクト 150φ                           | 外気   | 5月15日 | 3FL   |
| 5 | アルミフレキ 300φ                          | 還気   | 4月25日 | 3FL   |
| 6 | キャンパス 1325×247 200L                  | 還気   | 4月25日 | 3FL   |
| 7 | スパイラルダクト継手(亜鉛鉄板) 90° ベンド(1.0R) (300) | 還気   | 4月25日 | 3FL   |

CSVファイル上で日付を編集

### 読み込み

[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの読み込み]で、日付の項目のプロパティカテゴリを「カスタム」と設定し、編集したCSVファイルを読み込みます。

The 'Property Load' dialog box shows the 'Property Category' set to 'Custom'. The CAD interface shows a property list for 'スパイラルダクト' with '4月25日' highlighted, indicating that the loaded value is editable.

### 参照

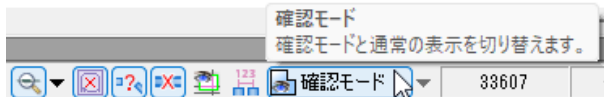
[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの参照]で読み込み項目を「カスタム」と設定し、編集したCSVファイルを参照します。

The 'Property Reference' dialog box shows the 'Property Category' set to 'Custom'. The CAD interface shows a property list for 'ダクト' with '5月1日' highlighted, indicating that the referenced value is not editable.

## 3. 確認モード

確認モードを使用すると、カスタムプロパティ、進捗管理の項目ごとに要素を色分けして表示し、図面上とCGで確認することができます。

[確認モード](画面右下)をオンにすると、選択した項目の値ごとに色分けして確認することができます。



確認モード : 確認モード オフ  
確認モード : 確認モード オン

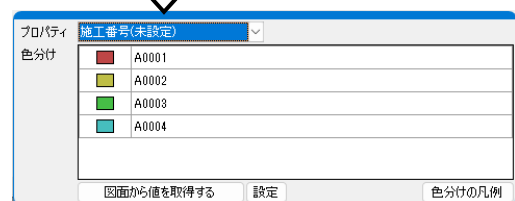
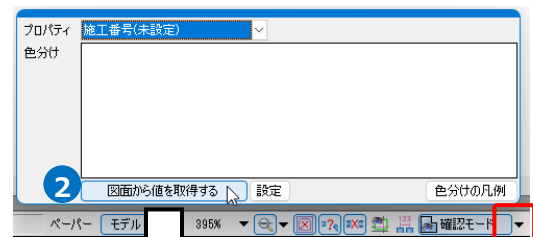
### 確認モードの起動

#### カスタムプロパティの確認

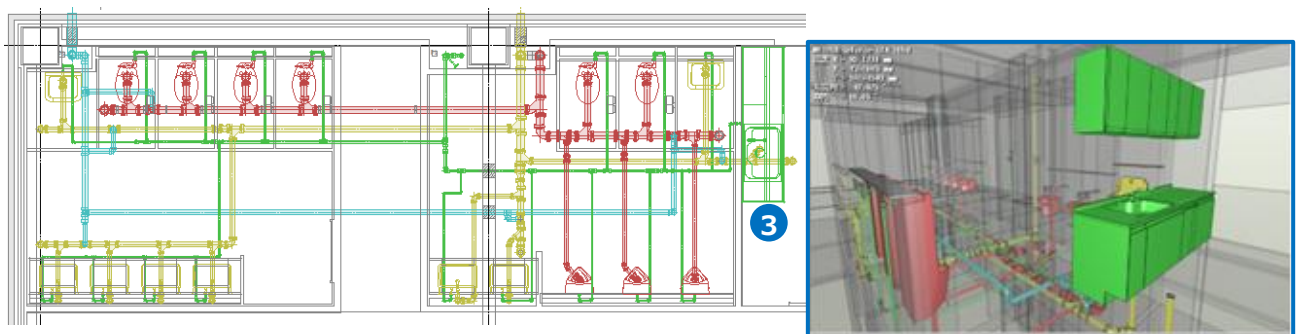
① [確認モード]をクリックし、[カスタムプロパティ]から確認したいプロパティ項目名をクリックします。



② [確認モード]横の[▼]をクリックし、[図面から値を取得する]をクリックします。  
→図面上に設定しているカスタムプロパティの値と色が表示されます。



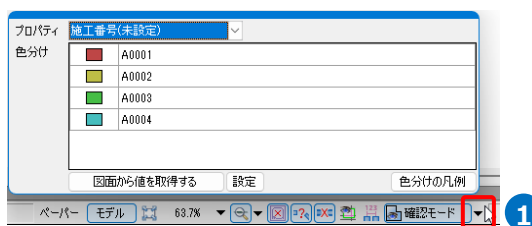
③ 画面をクリックしてメニューを閉じます。  
→カスタムプロパティの値ごとに色分けして図面上とCGで表示されます。



## カスタムプロパティの色の変更

値ごとの色を変更します。

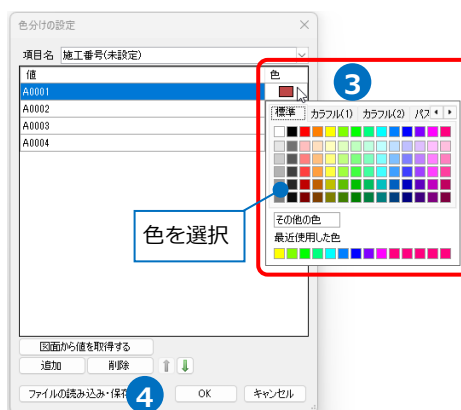
- 1 [確認モード]がオンの状態で[確認モード]横の[▼]をクリックします。



- 2 [設定]をクリックします。  
→[色分けの設定]ダイアログが開きます。



- 3 [色分けの設定]ダイアログで変更する色をクリックし、色を変更します。

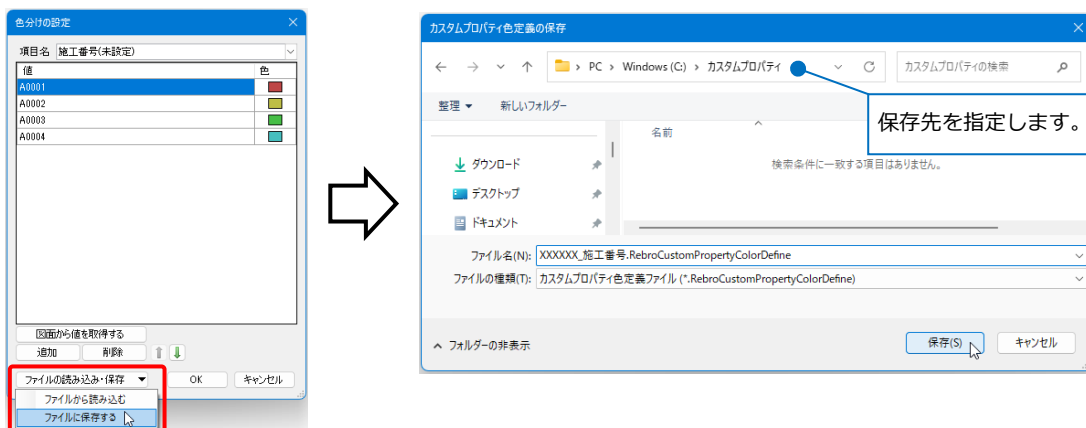


- 4 [OK]をクリックします。

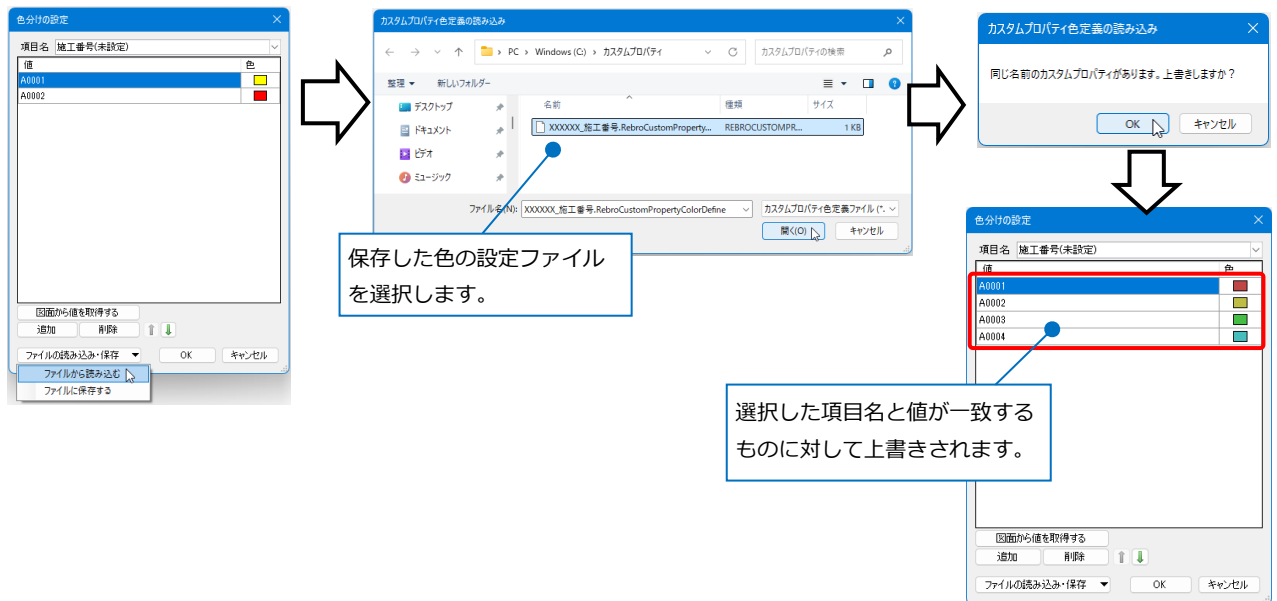
### ● 補足説明

カスタムプロパティは、[色分けの設定]ダイアログの[ファイルの読み込み・保存]-[ファイルに保存する]で色の設定をファイルで保存し、保存した設定ファイルを[ファイルから読み込む]で読み込むことで他の図面でも同じ色の設定を使用することが可能です。

- ・色の設定をファイル(\*.RebroCustomPropertyColorDefine)に保存

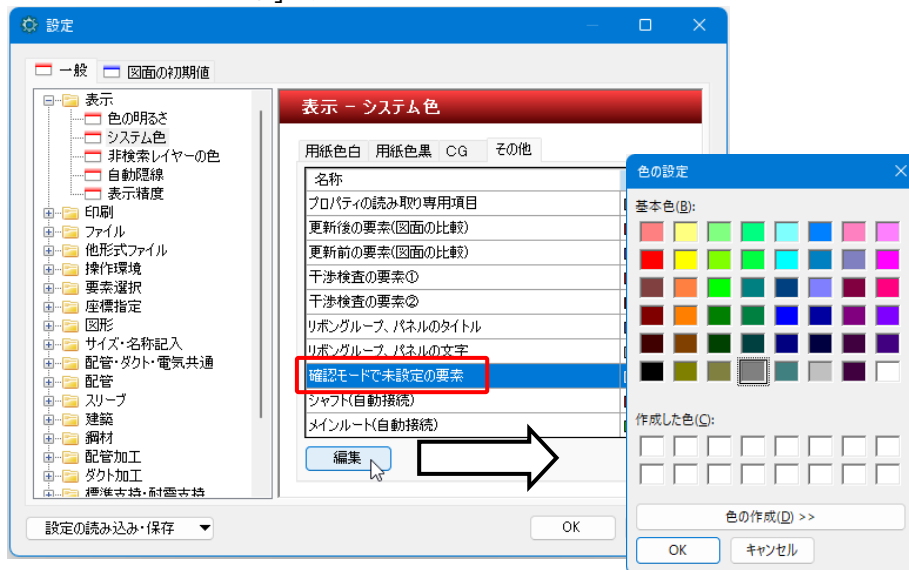


・色の設定ファイル(\*.RebroCustomPropertyColorDefine)を読み込み



### 選択した項目以外の要素の色

選択した各項目に含まれない要素の色は、[設定]-[一般]タブ-[表示]-[システム色]の[その他]タブの[確認モードで未設定の要素]で変更することができます。



### ● 補足説明

[確認モード]がオンの状態で図面を印刷すると、画面に表示されている色そのまま印刷することができます。

## カスタムプロパティの色分けの凡例

設定した色分けを凡例表として作図します。

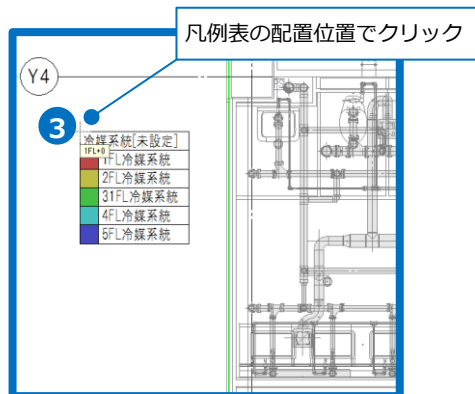
- 1 [確認モード]がオンの状態で[確認モード]横の[▼]をクリックします。



- 2 [色分けの凡例]をクリックします。



- 3 凡例表の配置位置を指定します。



## 確認モードの終了

[確認モード]を終了する場合は、[確認モード]をクリックし、[確認モードの終了]をクリックします。

